

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109	総合ゼミナール Seminar (English and Culture)	青山 晴美	専門	2	必修	2年 前・後期
科目の概要						
このゼミでは、英語、国際関係、海外ボランティアなどを総合的に学ぶ。カナダ人留学生との交流をして英語の勉強をしたり、日本を取り巻く国際情勢を学ぶと同時に、ユネスコ平和会議への参加などの学外研修も行う。このゼミを通して、広く海外に目を向け、どんな国際貢献ができるのかについても考えることができる。また、関心のあるテーマを選び、深く掘り下げて、生デの社会人基礎力グランプリで発表する。こうした活動を通して、積極的に行動を起こし、自分の考えを説明して発表することができる。						
学修内容			到達目標			
① JICA での研修を受ける。 ② ユネスコ平和会議に参加する。 ③ カナダ人留学生と交流する。 ④ 国際情勢について知識を広げる。 ⑤ 生デの社会人基礎力グランプリで発表する。			① 開発途上国への支援について理解できる。 ② ユネスコの活動を理解できる。 ③ 留学生と英語で話すことができる。 ④ 世界と日本との関係が理解できる。 ⑤ 聞き手に解かりやすく発表できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例				
前 に 踏 出 す 力	主体性	学外研修に参加することや留学生との交流など、積極的に行動することで、指示がなくても自ら課題を見つけて取り組むことができる。 課題をするのに必要な知識について、文献を使って自己学修ができる。				
	働きかけ力					
	実行力	学外研修や社会人基礎力の発表において、困難があっても目標を変更せずに到達することができる。				
考 え 抜 く 力	課題発見力	国際貢献というテーマで、事実を客観的に整理して新しい課題を見極めることができる。				
	計画力					
	創造力	国際貢献について考えるとき、固定概念にとらわれず、様々な方向から考えることができる。				
チ ム で 働 く 力	発信力	整理した内容を聞き手に解かりやすく発表することができる。				
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認しながら自分の意見を述べることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	無断欠席や遅刻、私語をせずにクラスのルールを守る。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト授業中に：適宜プリントを配布する。 参考文献：なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連：英語関連科目、国際交流フィールド科目を受講していることが望ましい。 資格との関連：なし						
学習上の助言			受講生とのルール			
毎回、次週のテーマについて知らせるので指定されたプリントを読むとよい。 留学生との交流で英語を積極的に使うことで、英語の運用能力が高まる。 ユネスコ会議で積極的に発言するとよい。			課題提出の期限は守ること。 学外研修では、マナーや言葉遣いに気を付けて、秩序ある行動をすること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	達成目標	各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	30	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤	課題「国際貢献」について、学外研修と授業で学んだことを基礎に、広く調べて自分の見解をまとめて述べていることを評価する。A4 で二枚。標準仕様。
成果発表 (口頭・実技)	40	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	前期で学んだ内容に関してテーマを選び、事実をもとに的確に自分の意見を解かりやすく発表しているかを評価する。生デの社会人基礎力グランプリ大会で発表する。(発信力)
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	(主体性) 授業ばかりでなく学外研修や留学生との交流で積極的に学修を進めることができる。 (実行力) 自分で立てた目標を達成できるように、具体的に行動を起こす。 (課題発見力) 国際交流という課題において問題点の解決策を提案できる。 (創造力) さまざまな角度から課題に取り組むことができる。 (発信力) 資料なども用意して発表できる。 (傾聴力) 独りよがりではなく、人の意見を聞きながら自分の意見を述べていくことができる。 (規律性) 欠席や遅刻をしない。
その他	20	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓	JICA やユネスコ平和会議のディスカッションにおいて積極的に発言することを評価する。
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

達成レベル S(秀)及び A(優)の基準	達成レベル B(良)及び C(可)の基準
①留学生と積極的に英語を話しコミュニケーションをとる。 ②学外研修先でも積極的に発言ができる。 ③レポートでは論理的に自分の意見が述べられている。 ④プレゼンで分かりやすく発表すること。 ①+②+③+④ができた場合は A これに加えて①では、会話をリードし、②③④では十分な事前準備をしてきた場合には S	①留学生と最低限のコミュニケーションがとれる。 ②学外研修先で当てられたら発言をすることができる。 ③レポートでは学修内容が述べられている。 ④プレゼンにて自分の意見が人に伝えることができる。 ①+②+③+④ができた場合には C。これに加えて②では自発的に発言し、③では自分の意見が述べられていたら B

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバックの方法	到達レベル C(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 / 	ゼミの内容と進め方 についてのオリエン テーション	講義	ゼミの内容と自分のす べきことが理解でき る。	(予習)英語プリントを配布する ので予習すること。自己紹介文 を英語でつくること。	165	主体性
2～ 4週 / 	英語で留学生と話 す。 自己紹介を英語です る。	演習 英語での会話後、 個々の問題点につい でのフィードバックを する。	英語で自分のことを話 すことができる。	(復習)英語の自己紹介文を覚 える。 (予習)国際貢献のプリントを配 布するので予習として読む。	105 105	主体性 課題発 見力 規律性
5週 / 	JICA について学ぶ。 日本人は海外でどん なボランティア活動を しているのかを知る。	講義 海外ボランティア活動 における現状につい での質疑応答を行う。	海外ボランティアにつ いての基本的な事実 が理解できる。	(復習)海外活動している日本 人についてまとめる。 (予習)JICA についてネットで調 べてくる。組織、運営、活動な ど。	105 105	主体性 課題発 見力
6週 ～ 8週/ 	JICA での研修。活動 と実例について学 ぶ。	講義 海外ボランティア活動 における現状につい での質疑応答を行う。	具体的な活動と、現状 が理解できる。	(復習)JICA の活動についてま とめる。 (予習)ユネスコについて調べて くる。資料を配布するので読ん でくる。	105 135	主体性 実行力
9週 / 	ユネスコについて学 ぶ。日本人のユネス コにおける活動を知 る。	講義 海外ボランティア活動 における現状につい での質疑応答を行う。	ユネスコの活動、意 義、内容について理 解できる。	(復習)日本人のユネスコ活動を まとめる。 (予習)ユネスコ会議の課題テー マのプリントを配布するので調 べてくる。	105 135	主体性 実行力
10週 ～12 週/ 	第一回ユネスコ平和 会議に出席する。国 際貢献の事例につい てディスカッションに 参加する。	会議に参加後、自分 の発言内容について の反省と課題を発見 する。	会議にてディスカッシ ョンに参加して意見を 述べることできる。	(復習)ユネスコ会議で出された 課題をする。 (予習)日本人の国際貢献につ いて自分の意見をまとめる。	135 135	主体性 課題発 見力 発信力
13週 ～15 週/ 	JICA での研修とユネ スコ会議に参加後、 国際貢献について学 ぶ。	講義 国際貢献についての 意見交換をして課題 を発見する。	日本の国際貢献のあ り方が理解できる。具 体的にどの国でどん な活動をしているの か。	(復習)国際貢献について自分 の意見をまとめて、レポート提 出。 (予習)これまでの学びを社会人 基礎力と関係してまとめる。	165 135	主体性 課題発 見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況
把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバックの方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
16週 ~18週/ 週/	社会人基礎力グランプリ生デでの発表のテーマを決める。	演習 発表内容についての質問や不明点に対してフィードバックする。	発表のテーマの内容が理解できる。	(復習)発表のテーマについて自分の分担の箇所をノートを読み再確認する。 (予習)テーマを掘り下げするための資料の準備をする。	95 95	主体性 課題発見力 創造力
19週 / 週/	発表のパワポをつくる。	演習 第一回目の出来上がったパワポについての意見交換とフィードバック。	要点を得た、わかりやすいパワポをつくるができる。	(復習)ノートと資料を読み発表内容の理解を深める。 (予習)わかりやすく工夫されたパワポを考えてくる。	95 95	創造力 規律性 発信力
20週 ~22週/ 週/	発表のパワポを修正しながら発表の練習	演習 出来上がったパワポについての意見交換とフィードバック。	事実をわかりやすく説明できる。	(復習)発表の仕方を振り返り改善点をまとめる。 (予習)表現の仕方や説明の明瞭さを考えて練習してくる。	105 105	創造力 発信力
23週 / 週/	発表について振り返る。内容、声の大きさ、態度、工夫など。	演習 出来上がったパワポについての意見交換とフィードバック。	参加後の自分の意見をまとめることができる。社会人基礎力について自己評価できる。	(復習)社会人基礎力についてのワークシートを作成する。 (予習)英語のプリントを配布するので予習する。	95 95	主体性 創造性 傾聴力
24週 ~29週/ 週/	英語を学ぶ。英検の問題を解く。文法事項を再確認する。	演習 課題のプリントを解説しながら、問題点を発見する。	授業で英語の問題を解くが60%以上できる。	(予習)英語のプリントを配布するので予習する。 (復習)間違った文法を覚えなおす。	135 105	主体性 課題発見力 実行力 規律性
30週 / 週/	一年間の学びを通しての学びと社会人基礎力についての振り返り。	演習 各自意見を述べた後に質問をしてフィードバックする。	学びの成果をもとに、獲得した知識と社会人基礎力の自己分析ができる。	(復習)学んだことを将来にどのように役立てるのかを考える。	120	主体性 課題発見力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況
把握力 規律性 ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109	総合ゼミナール Seminar (Library and Librarian)	江良 友子	専門	2	必修	2 年 前・後期
科目の概要						
図書館及び図書館サービスについて実践的に理解するために、本学図書館を主要なフィールドとして『図書館だより』の発行、図書館の「館内展示」、及び学校内掲示板の「掲示」制作を行う。また、受講者の興味に応じて読書会やビブリオバトル、図書館等の見学会などを行う。受講生による自主的な運営と共同作業を基本とすることで、図書館司書の仕事に必要な課題解決能力を身につける。						
学修内容			到達目標			
① 館内展示の計画・作成の方法を知る ② 掲示板の計画・作成の方法を知る ③ 図書館だよりの計画・作成の方法を知る ④ 1年次に学んだ読み聞かせや選書の技術を使ったコミュニケーションを実施する(自主企画) ⑤ まとめ、反省会を実施する			① 魅力的な館内展示を考え、制作できる ② 本の魅力をアピールする掲示を考え、制作できる ③ 図書館だよりを通じて大学図書館をアピールできる ④ 他大学の学生や地域と交流するための企画・立案・参加ができる ⑤ ふり返りを行い、更なる学びに繋げることができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	現在のゼミ活動の中で何をすべきか見極め、自発的に取り組むことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	より良い作品にするにはどうしたらよいかを考え、1回毎の制作過程を大切にしながら取り組むことができる。				
考え抜く力	課題発見力	常に周りに声かけをし、正確な作業を把握しながら作品制作できる。				
	計画力					
	創造力	図書館利用者を意識した、図書館だより、館内展示、掲示の企画・制作ができる。				
チームで働く力	発信力	他大学の学生や地域住民と本や紙芝居などをハブとしたコミュニケーションができる。				
	傾聴力	自分と異なる意見を持つ相手の話にも耳を傾け、折衷案を示すことができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	仕事には必ず締め切りがあることを自覚し、期日に合わせた目標設定・行動ができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト: 必要に応じて参考資料等を配布する。自主企画や図書館見学に要する費用は自己負担とする。 参考文献: なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連: 図書館に関する科目全て 資格との関連: 図書館司書						
学修上の助言			受講生とのルール			
司書として現場で仕事をするために必要なことを実践的に学習する。受け身ではなく、積極的に発言・行動すること。図書館だけでなく、博物館など展示・掲示制作で参考となる場所へ足を運び、学習することが望ましい。			遅刻・欠席は、3回で1回の欠席となる。 6 回以上の欠席は0(放棄)判定となる。 無断欠席はしない。必ず連絡・報告する。 話し合いで決定した事項は、全員で協力して行うこと。 携帯電話の電源は切り、カバンに入れておくこと。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験				
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)	30	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した作品(館内展示・掲示・図書館だより)についての説明することができる。 ・発表に対して質問や感想を述べることができる。 ・自分たちが培ってきた社会人基礎力について、発表するための資料作り・発表準備・プレゼンテーションができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
作品	30	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 制作したものを評価する。 ・館内展示(タイトルボード、各本の紹介、季節に合わせた飾りつけなど) ・掲示(図書館への案内、本の紹介、など) ・図書館だより(企画・レイアウト・校正など)
		②	✓	
		③		
		④	✓	
		⑤	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 前項に明記した社会人基礎力に関する行動事例にも基づいて学修態度を評価する。 (主体性) 言われたことだけでなく、必要なことを考え、行動することができる。 (実行力) 自主的に調べ、相談し、行動することができる。 (課題発見力) 周りの状況を確認しながら作業を進めることができる。 (創造力) 図書館利用者の実態に合った作品を考え、創作することができる。 (発信力) 紙芝居・読み聞かせ、プレゼンテーションなど、人前で堂々と発表することができる。 (傾聴力) 自分と異なる意見にも耳を傾け、それを踏まえた折衷案を示すことができる。 (規律性) 提出物など期日があるものは、余裕をもって期限内に提出することができる。 ※これら7項目は、全体を通して総合的に評価する・・・10点
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他	30	①		<ul style="list-style-type: none"> ゼミとして参加する学校・地域の行事やイベントの準備・実行ができる 自主企画立案・準備・実行がもれなくできる
		②		
		③		
		④	✓	
		⑤	✓	
総合評価 割合	100			成果発表、作品、学修態度、その他の成績を総合して評価する。

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)及び C(可)の基準
<p>S(秀)評価</p> <p>ゼミ内・外で、参加・発表の場が与えられた時、積極的に参加し、発表することができる。</p> <p>割り当てられた作品が、期日までに制作でき、人を引き付ける魅力的なものに仕上がっている。</p> <p>学校内外の行事・イベントの準備や参加に意欲をもって望み、参加することができる。</p> <p>前頁の社会人基礎力に関する行動事例に基づいた行動事例が達成できている。</p> <p>A(優)評価</p> <p>ゼミ内・外で、参加・発表の場が与えられた時、参加し、発表することができる。</p> <p>作品が、期日までに制作でき、人を引き付ける魅力的なものに仕上がっている。</p> <p>学校内外の行事・イベントの準備や参加に参加することができる。</p> <p>前頁の社会人基礎力に関する行動事例に基づいた行動事例が概ね達成できている。</p>	<p>B(良)評価</p> <p>ゼミ内・外で、参加・発表の場が与えられた時、積極的に参加し、発表しようと努力している。</p> <p>作品が、期日までに制作でき、人を引き付ける魅力的なものに仕上がっている。</p> <p>前頁の社会人基礎力に関する行動事例に基づいた行動事例を達成しようと努力できている。</p> <p>C(可)評価</p> <p>ゼミ内・外で、参加・発表の場が与えられた時、参加している。</p> <p>作品が、期日までに制作できている。</p> <p>前頁の社会人基礎力に関する行動事例に基づいた行動事例を達成しようと努力できている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 /	オリエンテーション 授業の進め方説明と年間計画 の検討を行う	演習	授業の趣旨を理解し、年 間計画に自分の意見を述 べることができる。	(予習) 自主企画の案を考え る	90	主体性 創造力
2週 /					90	実行力 課題発 見力 傾聴力
3週 /	館内展示 1 図書館内の展示企画と作成、参 考となる図書館見学を行う	演習 図書館見学 作成物の講評(フィ ードバック)	館内展示(第1回)の企画・ 作成を行うことができる	(予習) 魅力的な展示をする ための見せ方を考え る	90	実行力 課題発 見力 傾聴力
4週 /					90	実行力 課題発 見力 傾聴力
5週 /					90	実行力 課題発 見力 規律性
6週 /	掲示 1 掲示板を有効に使う方法を学習 し、掲示作成を行う	演習 作成物の講評(フィ ードバック)	掲示(第1回)の企画・制作 を行うことができる	(予習) 本の魅力をアピール できる掲示をする方 法を考える	90	実行力 課題発 見力 傾聴力
7週 /					90	実行力 課題発 見力 規律性
8週 /	自主企画 1	演習又は実習、見学 作成物等の講評(フィ ードバック)	自主企画を行うことができ る	(予習) 第1回授業で決定し た自主企画準備をす る	90	主体性 創造力 発信力
9週 /					90	実行力 課題発 見力 傾聴力
10週 /					90	実行力 課題発 見力 傾聴力
11週 /	図書館だより 1 図書館だよりの企画と作成を行う ①紙面の作り方 ②アンケートの実施法 ③インタビューの行い方	演習 作成物の講評(フィ ードバック)	図書館だより(第1回)の企 画・制作を行うことができる	(予習) 図書館だより企画・作 成準備をする	90	実行力 課題発 見力 傾聴力
12週 /	④本の紹介 ⑤対象に合わせた記事の書き 方				90	実行力 課題発 見力 傾聴力
13週 /					90	実行力 課題発 見力 傾聴力
14週 /					90	実行力 課題発 見力 規律性
15週 /	前期の反省会 後期の計画	演習	前期作成した作品の反省・ 課題検討ができる 後期の自主企画の計画を 立てることができる	(予習) 後期の自主企画案を 考える	90	主体性 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
16週 /	館内展示 2 図書館内の展示企画と作成を行う	演習 作成物の講評(フィードバック)	第1回の反省を踏まえて館内展示(第2回)の企画・制作を行うことができる	(予習) 魅力的な展示をするための見せ方を考える	90	実行力 課題発見力 傾聴力
17週 /					90	実行力 課題発見力 傾聴力
18週 /					90	実行力 課題発見力 傾聴力
19週 /					90	実行力 課題発見力 規律性
20週 /	掲示 2 掲示板を有効に使う方法を学習し、掲示作成を行う	演習 作成物の講評(フィードバック)	第1回の反省を踏まえて掲示(第2回)の企画・制作を行うことができる	(予習) 本の魅力をアピールできる掲示をするために必要なことを考える	90	実行力 課題発見力 傾聴力
21週 /					90	実行力 課題発見力 規律性
22週 /	自主企画 2	演習又は実習、見学 作成物等の講評(フィードバック)	自主企画を行うことができる	(予習) 第15回授業で決定した自主企画準備をする	90	主体性 創造力 発信力
23週 /	図書館だより 2 図書館だよりの企画と作成を行う ①紙面の作り方 ②アンケートの実施法 ③インタビューの行い方 ④本の紹介 ⑤対象に合わせた記事の書き方	演習 作成物の講評(フィードバック)	第1回の反省を踏まえて図書館だより(第2回)の企画・制作を行うことができる	(予習) 図書館だより企画・作成準備をする	90	実行力 課題発見力 傾聴力
24週 /					90	実行力 課題発見力 傾聴力
25週 /					90	実行力 課題発見力 傾聴力
26週 /					90	実行力 課題発見力 傾聴力
27週 /					90	実行力 課題発見力 傾聴力
28週 /					90	実行力 課題発見力 傾聴力
29週 /					90	実行力 課題発見力 規律性
30週 /	反省会 今年度の成果とまとめを話し合う	演習	一年間の成果を振り返り評価ができる	(予習) これまで作成してきた全作品を確認する	90	主体性 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109	総合ゼミナール Synthesis Seminar	小山田 尚弘	基礎	2	必修	2年 前・後期
科目の概要						
このゼミは「楽しく、作品を制作しよう！」をテーマに授業を進めます。制作した作品は、卒業作品の発表として学内の展示スペースにも展示します。また希望者には、作品を西尾市美術展・岡崎市美術展。全国着物デザインコンクールなどのコンテストにも出品します。授業は2年生の前後期の30回授業で作品を制作するので、各学生はしっかりした制作のスケジュールを組んで作品を作って欲しい。また、見聞を広める目的で美術館や博物館に見学に出かける予定です。授業をどうして、建学の精神や社会人基礎力を身に付け、個性的な芸術表現ができるように潜在能力開発に努めてほしい。						
学修内容			到達目標			
① デザイン・染色・デッサン・色彩などの技法や知識などを学びながら作品を制作する。			① デザインや染色の知識・技術の修得ができる。			
② ゼミ旅行に出掛け、専門分野の学識を深め学生達や教員間の親睦を図る目的で実施する。			② 愛知県美術館・名古屋市美術館・岡崎市美術館などに出掛け見聞を広げることができる。			
③ 学生の潜在能力開発の目的で、学生が授業で制作した作品をコンクールに出品する。			③ コンクールなどに出品し、入選や受賞により学生の潜在能力を伸ばすことができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例				
前に踏み出す力	主体性	作品を総合的に捉えて判断し、良い作品になるように粘り強く仕上げることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	自分で立てた目標を達成できるように、具体的に行動を起こした。				
考え抜く力	課題発見力	良い作品に仕上がるように、総合的に作品をよく検討し仕上げることができる。				
	計画力					
	創造力	自分の感性を大切に、個性豊かに創造して仕上げることができる。				
チームで働く力	発信力	話だけで伝えるのが難しい場合には、紙に描いて説明した。				
	傾聴力	作品を総合的に捉えて判断し、良い作品になるように粘り強く仕上げることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	提出物の期限を守った。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:必要に応じてプリントを配布する。 参考文献:なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:色彩と表現、ポップデザイン、基礎デザイン、染色デザイン 資格との関連:なし						
学習上の助言			受講生とのルール			
パネル画、デッサン、イラスト画、ステンシル染め、絞り染め、など学生が制作したい分野を選び制作してもらいます。授業の最初に何を制作するのか知らせてもらいます。美術館の見学には必ず参加してほしい。			① ポスターカラーやアクリル絵の具は各自で購入し準備する。 ② 作品の提出期限を守ること。 ③ 作品制作により自分を高める努力をすること。 ④ 材料費は制作内容により異なる。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品	85	①	✓	・制作した作品については完成度(特に優れて高い:K、優れて高い:A、完成はしているが仕上がりは普通:B、完成はしているが仕上がりは悪い:C、完成できてない:D)を評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	主体性: 作品を総合的に捉えて判断し、良い作品になるように粘り強く仕上げることができるか。 実行力: 自分で立てた目標を達成できるよう、具体的に行動を起こすことができる。 課題発見力: 良い作品に仕上がるように、総合的に作品をよく検討し仕上げることができる。 創造力: 自分の感性を大切に、個性豊かに創造して仕上げることができる。 発信力: 話だけで伝えるのが難しい場合には、メモなどを用意して説明できる。 傾聴力: 作品を総合的に捉えて判断し、良い作品になるように粘り強く仕上げることができる。 規律性: 提出物の期限を守ることができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他	5	①	✓	・作品を制作する時に、たくさんのアイデアを描いて、できるだけ良い作品になるように努力できる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A: 制作課題に対して、一生懸命に制作に励み、アイデアもたくさん出し、デザイン性に優れ、染色技術の完成度も高い作品として仕上がっている。課題内容を正確に捉え、配色や構成など大変よくできている。魅力的でオリジナリティな作品に仕上がっている。</p> <p>S: 上記の基準に加えて、積極的な受講態度が見られ、作品はクラスの中でも際立って優れ高い評価となっている。</p>	<p>B: 制作課題は提出期限までに、教員の指示通りの制作を行って完成できている。基本的なデザインや染色の知識・技術を身につけている。</p> <p>C: 上記の基準に対して、作品制作の仕上がりが悪く、授業態度も努力の姿勢が感じられない。</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	<前期> オリエンテーション 授業の内容説明やスケジュール説明を行う	講義	授業のスケジュールや内容の理解している	(復習)授業内容を理解し次の授業で持参するものを準備しておく	90	主体性 傾聴力 発信力 規律性 創造力
2週 /	作品制作 染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う。たくさんアイデアを出して検討する。①	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	授業で何を制作するのか明確にして計画できる	(予習)デザインや色彩の計画を行っておく (復習) 染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	主体性 創造力 傾聴力 実行力 発信力 規律性
3週 /	作品制作 染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う。たくさんアイデアを出して検討する。②	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デザイン・染色など学生がそれぞれ計画し制作できる	(予習)作品の下絵をたくさん描いておく(復習) 染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題発見力
4週 /	作品制作 染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う。迷ったら小作品の試作を制作して検討する。③	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	アイデアをたくさん出し多岐面から検討して制作できる	(予習)デザインや色彩の計画を考えておく (復習) 染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題発見力 規律性 実行力
5週 /	作品制作 染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う。迷ったら小作品の試作を制作して検討する。④	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	作品制作において、問題点があれば教員に聞いて相談できる	(予習)作品の制作計画を考えておく(復習) 染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題発見力 実行力
6週 /	作品制作 染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う。最初の作品を制作したら2作品目を制作する⑤	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	小下図から実際の作品サイズに拡大し制作できる	(予習)色彩の検討や計画を行っておく(復習) 染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	主体性 創造力 傾聴力 実行力 課題発見力
7週 /	作品制作 染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う⑥	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	コンクールへの出品の申し込み書を記入し作品搬入できる	(予習)デザイン計画やバランスなどの検討しておく (復習) 染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題発見力 実行力
8週 /	作品制作 染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う⑦	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	作品の批評に従って学生各自で作品の見直しや計画できる	(予習)作品制作の材料や助在など準備しておく (復習) 染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題発見力
9週 /	作品制作 計画性を持って色彩やデザインを考える	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デザインの計画・検討し見直しを行うことができる	(予習)配色やデザイン構成などの計画やアイデアを考えてくる (復習) 染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題発見力 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
10週 /	作品制作 今まで制作した作品の再検討 配色・画面構成・バランスなど検討する	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	デザインや染色などの色彩配色の再検討できる	(予習)作品の計画や工程の確認を行いまとめておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題発見力
11週 /	作品制作 計画性を持って色彩配色や画面構成を考えてまとめ、デザイン作品や染色作品として仕上げていく。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	作品の制作スケジュールを確認して作品を制作できる	(予習)色々なアイデアを出し試作品を何度か作って試しておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題発見力 実行力
12週 /	作品制作 計画性を持って色彩配色や画面構成を考えてまとめ、デザイン作品や染色作品として仕上げていく。問題点などの課題を検討し、迷ったら教員にも聞いて作品を制作する。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	大学祭でゼミの作品発表や模擬店の準備や計画を行うことができる	(予習)再度、配色やテクスチャーを検討しておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題発見力
13週 /	作品制作 計画性を持って色彩配色や画面構成を考えてまとめ、デザイン作品や染色作品として仕上げていく。問題点などの課題を検討し、迷ったら教員にも聞いて作品を制作する。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	作品の画面構成・構図の検討・配色の検討を行って作品を上げることができる	(予習)作品制作の手順についてまとめておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	主体性 創造力 課題発見力
14週 /	作品制作 計画性を持って色彩配色や画面構成を考えてまとめ、デザイン作品や染色作品として仕上げていく。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	各学生で作品の見直しや計画を行って作品をまとめることができる	(予習)色々なアイデアを出し試作品を何度か作って試しておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	創造力 課題発見力 傾聴力 実行力
15週 /	作品講評会 染色やデザインパネルなど学生が制作した作品を講評する。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	各学生で作品の検討やまとめを行うことができる	(予習)作品の反省をノートなどに書いてまとめておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	主体性 傾聴力
16週 /	作品制作 計画性を持って色彩配色や画面構成を考えてまとめ、デザイン作品や染色作品として仕上げていく。学祭の模擬店をゼミで話し合い準備をする。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	各学生で作品の検討やまとめを行うことができる	(予習)色々なアイデアを出し試作品を何度か作って試しておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	創造力 課題発見力 傾聴力 実行力
17週 /	作品制作 計画性を持って色彩配色や画面構成を考えてまとめ、デザイン作品や染色作品として仕上げていく。学祭の模擬店をゼミで話し合い準備をする。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	各学生で作品の検討やまとめを行うことができる	(予習)作品制作の手順についてまとめておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	創造力 課題発見力 傾聴力 実行力
18週 /	作品制作 計画性を持って色彩配色や画面構成を考えてまとめ、デザイン作品や染色作品として仕上げていく。コンクールへ出品する人は作品の仕上げをする。学祭の模擬店をゼミで話し合い準備をする。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	各学生で作品の検討やまとめを行うことができる	(予習)色々なアイデアを出し試作品を何度か作って試しておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	創造力 課題発見力 傾聴力 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
19週 /	作品制作 計画性を持って色彩配色や画面構成を考えてまとめ、デザイン作品や染色作品として仕上げていく。コンクールへ出品する人は作品の仕上げをする。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	各学生で作品の検討やまとめを行うことができる	(予習)作品制作の手順についてまとめておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	創造力 課題発見力 傾聴力 実行力
20週 /	作品制作 計画性を持って色彩配色や画面構成を考えてまとめ、デザイン作品や染色作品として仕上げていく。コンクールへ出品する人は作品の仕上げをする。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	各学生で作品の検討やまとめを行うことができる	(予習)色々なアイデアを出し試作品を何度か作って試しておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	創造力 課題発見力 傾聴力 実行力
21週 /	作品制作 計画性を持って色彩配色や画面構成を考えてまとめ、デザイン作品や染色作品として仕上げていく。コンクールへ出品する人は作品の仕上げをする。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	各学生で作品の検討やまとめを行うことができる	(予習)色々なアイデアを出し試作品を何度か作って試しておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	創造力 課題発見力 傾聴力 実行力
22週 /	作品制作 計画性を持って色彩配色や画面構成を考えてまとめ、デザイン作品や染色作品として仕上げていく。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	各学生で作品の検討やまとめを行うことができる	(予習)色彩の検討や計画を行っておく(復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	創造力 課題発見力 傾聴力 実行力
23週 /	作品制作 計画性を持って色彩計画やデザインを考えてまとめる 染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	各学生で作品の検討やまとめを行うことができる	(予習)作品制作の手順についてまとめておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	創造力 課題発見力 傾聴力 実行力
24週 /	作品制作 計画性を持って色彩計画やデザインを考えてまとめる 染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	各学生で作品の検討やまとめを行うことができる	(予習)色彩の検討や計画を行っておく(復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	創造力 課題発見力 傾聴力 実行力
25週 /	作品制作 計画性を持って色彩計画やデザインを考えてまとめる 染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩計画など行う。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	各学生で作品の検討やまとめを行うことができる	(予習)色彩の検討や計画を行っておく(復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	創造力 課題発見力 傾聴力 実行力
26週 /	作品制作 計画性を持って色彩計画やデザインを考えてまとめる 今まで制作した作品の再検討 配色・画面構成・バランスなど検討する。	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	各学生で作品の検討やまとめを行うことができる	(予習)作品制作の手順についてまとめておく (復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	創造力 課題発見力 傾聴力 実行力
27週 /	作品制作 計画性を持って色彩計画やデザインを考えてまとめる 今まで制作した作品の再検討 配色・画面構成・バランスなど検討する★卒業作品発表会の展示の準備	演習 教員が制作方法の説明後、各自が作品制作する。作品は確認後、フィードバックし講評する。	各学生で作品の検討やまとめを行うことができる	(予習)色彩の検討や計画を行っておく(復習)染色作品の制作・デザイン制作・デッサンの制作・色彩などについてまとめる	45 45	創造力 課題発見力 傾聴力 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
28 週 /	作品制作 学内展示の準備と学外コンクール への申し込み書き、テープ張りなど 行う ★卒業作品発表会の展示の準備	演習 教員が制作方法の説明 後、各自が作品制作す る。作品は確認後、フィ ードバックし講評する。	各学生で作品の検討やまとめ を行うことができる	(予習)作品制作の手順 についてまとめておく (復習)染色作品の制 作・デザイン制作・デッ サンの制作・色彩など についてまとめる	45 45	創造力 課題発 見力 傾聴力 実行力
29 週 /	作品制作 学内展示の準備と学外コンクール への申し込み書き、テープ張りなど 行う ★卒業作品発表会の展示の準備	演習 教員が制作方法の説明 後、各自が作品制作す る。作品は確認後、フィ ードバックし講評する。	各学生で作品の検討やまとめ を行うことができる	(予習)一つ一つの工程 の準備とまとめておく。 展示材料の手配や再確 認しておく (復習)染色作品の制 作・デザイン制作・デッ サンの制作・色彩など についてまとめる	45 45	創造力 課題発 見力 傾聴力 実行力
30 週 /	まとめについて連絡 学内展示の準備と学外コンクール への申し込み書き、テープ張りなど 行う ★卒業作品発表会の展示	演習 教員が制作方法の説明 後、各自が作品制作す る。作品は確認後、フィ ードバックし講評する。	各学生で作品の検討やまとめ を行うことができる	(復習)染色作品の制 作・デザイン制作・デッ サンの制作・色彩など についてまとめる	90	創造力 課題発 見力 傾聴力 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109	総合ゼミナール Seminar (Digital Contents Design)	神谷 良夫	基礎	2	必修	2年 前・後期

科目の概要

「デジタルマーケティング」を学んで、デジタルコンテンツを作ってみよう！
この授業では、「情報デザイン」ユニットで学習したスキルを発展的に伸ばすことを目指しています。前期に「デジタルマーケティング」をテキスト中心に様々なデジタルマーケティング技法事例を理解して、デジタルビジネスの手法を修得します。後期は前期に学んだデジタルマーケティングの手法を参考に主体的にプロジェクト提案に基づくデジタルコンテンツ制作を行います。これらの専門的知識・技能を習得し、活用することを学修する。

学修内容	到達目標
① Web マーケティングについて知る。 ② 様々な Web マーケティング技法とイノベーションについて理解する。 ③ 主体的に作品制作を通して Web ビジネスの実際を理解する。	① Web マーケティングとは何かを述べることができる。 ② Web マーケティングの技法と活用事例を学び、イノベーションの起こし方を列記することができる。 ③ デジタルコンテンツ制作のある分野を自分のプロジェクトとして選択し、作品制作を実施することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	授業で学ぶ以上のこと身につけたいと考え、自分で学修を進めた。
	働きかけ力	
	実行力	自分で立てた目標を達成できるように、具体的に行動を起こした。
考え抜く力	課題発見力	自分の学修上の問題点の解決策を考えた。
	計画力	計画に沿って予定通りにできているか進捗状況を確認しながら行動できた。
	創造力	授業で修得した事を応用して、新しい発想のもと課題に取り組むことができた。
チームで働く力	発信力	話だけで伝えるのが難しい場合には、資料などを用意した。
	傾聴力	質問された場合は、何を聞かれているか理解して回答した。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	指示やルールが曖昧になった時は、自分の解釈で進めず必ず確認した。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト:【前期】デジタルマーケティング集中講義 (マイナビ) テキストを購入する必要はありません。
【後期】プロジェクト提案に基づくデジタルコンテンツ制作を行う。
参考文献:なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:「Web デザイン」、「ユニバーサルデザイン」、「CG 演習 (イラストレータ)」、「CG 演習 (フォトショップ)」、「Web アニメーション演習 (Flash)」、「3DCG 演習 (Shade)」、「Web デザイン基礎演習」、「Web デザイン応用演習」

資格との関連:ウェブデザイン実務士 (直接、関係ありません)

学修上の助言	受講生とのルール
プロジェクト提案に基づく作品制作では、自分の挑戦してみたい課題を発見し、実行計画と振り返りを通して工程管理する能力を高めます。 この授業は、 <u>情報デザインユニット履修者対象</u> です。	課題はグループウェアを通して出しますのでその都度アップして下さい。可能な限り、CG-ARTS 協会 Web デザイナー検定に挑戦する。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	20	①	✓	テキストを読み込み、指示のあった内容の感想や提案などグループウェアを利用してアップロードする。(実行力) 後期に利用する工程管理表は、授業毎に振り返りを記入しアップロードする。(実行力)(計画力)
		②	✓	
		③	✓	
成果発表 (口頭・実技)		①	✓	自分の担当項目は PP ファイルにしてファイルサーバーに置いておき、プレゼンテーションを行う。(発信力) 30 回目の授業で作品発表を行う。(創造力)(実行力)(計画力)
		②		
		③		
作品	70	①		作品の完成度(特に高い:80 点、完成度は高く表現にも工夫が見られる:70 点、完成はしているが、表現方法に工夫と努力が必要である:60 点)(創造力)(実行力)(計画力)
		②		
		③	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) 授業で学ぶ以上のこと身につけたいと考え、自分で学修を進めた。 (実行力) 自分で立てた目標を達成できるように、具体的に行動を起こした。 (課題発見力) 自分の学修上の問題点の解決策を考えた。 (創造力) 授業で修得した事を応用して、新しい発想のもと課題に取り組むことができた。 (発信力) 話だけで伝えるのが難しい場合には、資料などを用意した。 (傾聴力) 質問された場合は、何を聞かれているか理解して回答した。 (規律性) 指示やルールが曖昧になった時は、自分の解釈で進めず必ず確認した。
		②	✓	
		③	✓	
その他		①		・30 回目の作品発表に無断欠席は O(放棄) 判定となる。(規律性)
		②		
		③	✓	
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・前期の「Web マーケティング」においては、知識を向上させ、議論等に建設的に発言できる。(①) ・後期の作品制作においては、完成度は高く表現にも工夫が見られる作品を制作する。(②) ・授業において積極的に参加する。(③) <p>S(秀) = ①+②+③、A(優) = ①+③</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前期の「Web マーケティング」においては、理解を深めている。(①) ・後期の作品制作においては、完成はしているが、表現方法に工夫と努力が必要である作品を制作する(②) ・授業において建設的に参加する。(③) <p>B(良) = ①+②+③、C(可) = ①+③</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	<前期> ゼミナールの年間計を学ぶ。	演習と講義	授業の全体像を説明することができる。	(予習)「デジタルマーケティング」の読み込み。	90	主体性
2週 /	デジタルマーケティングと第4次産業革命を学ぶ。	演習と講義 担当課題の発表と質疑応答後、フィードバックする。	デジタルマーケティングの概要が説明することができる。	(予習)第1講(p2~21)の読み込み (復習)Keywordをまとめる。	90	課題発見力 実行力
3週 /	ネットとリアル融合、テクノロジー自動化学ぶ。	演習と講義 担当課題の発表と質疑応答後、フィードバックする。	ネットとリアル融合を説明することができる。	(予習)第2講(p22~39)の読み込み。 (復習)Keywordをまとめる。	90	課題発見力 実行力
4週 /	顧客心理モデルとデジタルマーケティングを学ぶ。	演習と講義 担当課題の発表と質疑応答後、フィードバックする。	マーケティング4.0を説明することができる。	(予習)第3講(p40~57)の読み込み。 (復習)Keywordをまとめる。	90	課題発見力 実行力
5週 /	限界費用ゼロのデジタルマーケティングとUI・UXを学ぶ。	演習と講義 担当課題の発表と質疑応答後、フィードバックする。	限界費用とUI/UXを説明することができる。	(予習)第4講(p58~75)の読み込み。 (復習)Keywordをまとめる。	90	課題発見力 実行力
6週 /	ローカルビジネスとSEOとエンゲージメントを学ぶ。	演習と講義 担当課題の発表と質疑応答後、フィードバックする。	ローカルビジネスとAISAREを説明することができる。	(予習)第5講(p76~95)の読み込み。 (復習)Keywordをまとめる。	90	課題発見力 実行力
7週 /	EC市場の進展、リアル展開とシェアリングエコノミーを学ぶ。	演習と講義 担当課題の発表と質疑応答後、フィードバックする。	EC市場とリアル市場を説明することができる。	(予習)第6講(p96~117)の読み込み。 (復習)Keywordをまとめる。	90	課題発見力 実行力
8週 /	SEOの歴史とコンテンツマーケティング、Webメディアと倫理を学ぶ。	演習と講義 担当課題の発表と質疑応答後、フィードバックする。	コンテンツマーケティングを説明することができる。	(予習)第7講(p118~135)の読み込み。 (復習)Keywordをまとめる。	90	課題発見力 実行力
9週 /	SNSと動画マーケティングを学ぶ。	演習と講義 担当課題の発表と質疑応答後、フィードバックする。	SNSのデジタルマーケティングを説明することができる。	(予習)第8講(p136~157)の読み込み。 (復習)Keywordをまとめる。	90	課題発見力 実行力
10週 /	Web広告とアドテクノロジーの進展を学ぶ。	演習と講義 担当課題の発表と質疑応答後、フィードバックする。	インターネット広告の進化を説明することができる。	(予習)第9講(p158~177)の読み込み (復習)Keywordをまとめる。	90	課題発見力 実行力
11週 /	動画とWebサイトの分析ツールを学ぶ。	演習と講義 担当課題の発表と質疑応答後、フィードバックする。	YouTubeアナリティクスを説明することができる。	(予習)第10講(p178~203)の読み込み。 (復習)Keywordをまとめる。	90	課題発見力 実行力
12週 /	オウンドメディアを教化する10のツール+1を学ぶ。	演習と講義 担当課題の発表と質疑応答後、フィードバックする。	自社メディアの重要性を説明することができる。	(予習)第11講(p204~229)の読み込み。 (復習)Keywordをまとめる。	90	課題発見力 実行力
13週 /	ポストスマートフォン時代からシンギュラリティ、第5次産業革命を学ぶ。	演習と講義 担当課題の発表と質疑応答後、フィードバックする。	第4次産業革命を説明することができる。	(予習)第12講(p230~247)の読み込み。 (復習)Keywordをまとめる。	90	課題発見力 実行力
14週 /	ポストスマートフォン時代からシンギュラリティ、第5次産業革命を学ぶ。	演習と講義 担当課題の発表と質疑応答後、フィードバックする。	第5次産業革命を説明することができる。	(予習)前期まとめをアップロードする。	90	課題発見力 実行力
15週 /	前期まとめを行う。	講義と質疑応答後、フィードバックする。	前期に学んだことを発表できる。	前期のまとめを行う。	90	課題発見力 計画力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
16 週 ～ 18 週	<後期> プロジェクト提案の作成、デジタル コンテンツのコンセプト作りを行う。	講義 演習、18 回目に進捗状 況の報告後、フィード バックする。	プロジェクトの作成とそれに基づ く計画表を作成できる。	(予習)夏休み中に参考 文献を調べて、使用す るテキストを決めてお く。 (復習)アプリケーショ ン・参考資料・作品コン セプト・計画表を作成 する。	270	主体性 実行力 計画力 創造力
19 週 ～ 29 週	プロジェクト提案に基づくデジタル コンテンツ制作を行う。	演習、21 回目・24 回 目・27 回目に進捗状況 の報告後、フィードバ ックする。	チーム・制作者別に分かれて デジタルコンテンツ制作を 行うことができる。	(予習)参考文献をもと にデジタルコンテンツ 制作の工程管理を確 認する。 (復習)デジタルコンテ ンツ制作を行い、予定 通りに実行できたか確 認し、次回の課題を洗 い出す。	990	主体性 実行力 計画力 創造力
30 週	作品発表・相互評価・まとめを行う。	講義・演習後、フィード バックする	作品発表・相互評価・1 年間 のまとめを行う。	発表と同時に他作品に 対して評価を行う。	90	主体性 実行力 計画力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109	総合ゼミナール Seminar (Business Etiquette)	河合 詠子	基礎	2	必修	2年 前・後期
科目の概要						
<p>ビジネスマナーの研究をゼミ全体のテーマとし、ゼミ生それぞれがビジネスマナーに関する関心を持ったテーマについて資料収集し文献を読み研究を進めていく。最終的にはゼミ全体で一つのビジネスマナーに関する電子マナーブックの作成に挑戦する。個人のテーマに沿った研究を進める中で、将来の職場で信頼されるビジネスパーソンとなれるビジネスマナーを身につけると共に、自分が選んだテーマに関してなら人に伝えることができるというレベルを目指す。ゼミ全体では、ビジネスマナー実践の場をゼミ生で企画し運営する。ゼミ生による主体的な活動と運営を基本とし、ゼミとしての共同作業を体験する中で、社会人基礎力を養うと共に、就職した際に必要となる能力を身につけていく。</p>						
学修内容			到達目標			
<p>① ビジネスマナーの知識習得。 ② 学んだビジネスマナーの実践。 ③ 自分が設定したビジネスマナーに関するテーマの研究。 ④ 自分が行った研究を、発表の場で理解してもらえるようにまとめプレゼンテーションを行う。 ⑤ ゼミ全体活動での各自役割に応じた内容の企画、運営を体験する。</p>			<p>① ビジネスマナーの一般的な知識を習得する。 ② ビジネスマナーを実践することにより知識だけでなく、使えるレベルのスキルを身につける。 ③ 自分が設定したテーマの研究は一般的な知識集約に留まらず臨機応変な対応が提案できるレベルにする。 ④ 修得した知識、スキルを反映した、人に理解してもらえる内容のプレゼンテーションができる。 ⑤ ゼミ全体活動での自分の役割を理解し、企画・運営に対して積極的な行動をとり、責任を果たすことができる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例				
前に踏み出す力	主体性	研究テーマに必要な知識について、自分で資料を集め文献を探し自己学習ができる。				
	働きかけ力	ゼミ全体活動での自分の役割を考えゼミ全体が動きやすいように働きかけることができる。				
	実行力	自分が設定した研究テーマを年間計画に基づいて進め研究を達成することができる。				
考え抜く力	課題発見力	日常生活でも常にビジネスマナーに繋がる課題を見つけようとアンテナを張り、課題を発見できる。				
	計画力	計画に沿って予定通りにできているか進捗状況を確認しながら行動できる。				
	創造力	学んだ知識からだけでなく、多方面での可能性や知識を組み合わせるアイデアを考えられる。				
チームで働く力	発信力	研究内容を整理し、聞き手に解かりやすく発表することができる。				
	傾聴力	話している相手に対して、うなずき等、聴いている姿勢を見せることができる。自分の意見が、話している相手と違う場合でも、一旦相手の話を最後まで聴き受容することができる。				
	柔軟性	自分と考えが異なる意見も理解しようと努め、ゼミ全体がよりよい方向に向かうよう譲歩しながら柔軟に行動することができる。				
	状況把握力	ゼミ全体の流れやゼミ生の行動を見ながら、自分の役割や立場を考えて行動できる。				
	規律性	ルールを守り、自分の都合で解釈を変えない。指示やルールが曖昧と感じた時は、自分の解釈で進めず確認するようにする。				
	ストレスコントロール力	ストレスに耐えるのではなくコントロールできる力をつけるため、ストレスの原因を冷静に分析し、自己成長の機会と気持ちを前向きに切り替えて、対処方法を考え対応できる。				
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト: 必要に応じて、資料を配布。 参考文献: ゼミ生が選ぶビジネスマナーに関するテーマに応じた書籍を選定する予定。</p>						
他科目との関連、資格との関連						
<p>他科目との関連: オフィスタディ関連科目 資格との関連: なし</p>						
学習上の助言			受講生とのルール			
<p>ビジネスマナーに関する情報に関心を持って生活を送っていると研究に深みが出てくる。研究内容は就職してから実践に役立つと考え楽しみながら研究を進めて欲しい。</p>			<p>ゼミ全体活動時や自分の役割活動日には、無断欠席や遅刻等、ゼミ生全員に迷惑がかかるような行動は控え、ゼミ全体がまとまる方向を考え行動すること。</p>			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	10	①	✓	・毎回授業後に自己の取り組みを振り返るレポートを提出し、PDCA サイクルを活用しているか評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 (実技)	20	①	✓	・個人研究において中間発表及び、成果発表を行う。 習得した知識やスキルを活かして、自分の研究内容を聞き手に理解してもらえるような話し方でプレゼンテーションできているかを評価する。 ・ビジネスマナーの実践において、積極的に取り組みスキルを習得しようとしているかを評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
作品	40	①	✓	・個人研究を電子マナーブックの各1項目として、ゼミ生全員で1つの電子マナーブックとして作成する。 ・研究内容がわかりやすくまとめられているか、興味をひく内容になっているか等について評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	・前項に明記した社会人基礎力の行動事例に基づき学修態度を評価する。 (主体性)個人研究において積極的に自己学習を進めることができる。 (働きかけ力)ゼミ全体が良い方向へ進むように声をかけあうことができる。 (実行力)年間計画に基づいて個人研究、ゼミ活動を実行できる。 (課題発見力)ゼミ活動がうまく進むよう絶えず課題を考えて行動できている。 (計画力)進捗状況を確認しながら、PDCAサイクルを活用して進められる。 (創造力)ゼミ活動に対し、常によりよい方法がないか考え提案できる。 (発信力)相手に伝わる話し方を心掛け実践している。 (傾聴力)話を聴く時は、うなずく等し、話し手が話しやすい環境を作れる。 (柔軟性)自分と違う意見でも最後まで聴き、理解しようと努力できる。 (状況把握力)周囲の行動を見ながら自分の役割を考えて行動できる。 (規律性)ゼミ活動においてのルールを守り、礼儀正しい行動ができる。 (ストレスコントロール力)ストレスの原因を冷静に分析し、解決できない時は、一人で抱え込まず、周囲に相談できる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他	20	⑤	✓	・ゼミ活動で分担した役割の企画、運営に対する積極的な取り組みを評価する。
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
①ビジネスマナーの知識を習得するだけでなく、状況に応じた対応も考えることができる。 ②学んだビジネスマナーを実践で活かすことができる。 ③個人研究に対し進捗状況を確認しながらPDCAサイクルを活用し計画的に進めることができる。 ④個人研究の発表を、聞き手にわかりやすい方法でプレゼンテーションすることができ質問にも答えられる。 ⑤ゼミ活動において自分の役割を果たすだけでなく他のゼミ生のサポートも進んで行うことができる。 S(秀) = ① + ② + ③ + ④ + ⑤ A(優) = ① ~ ⑤のうち3項目以上できる。	①ビジネスマナーの知識を習得しようと努力している。 ②学んだビジネスマナーを実践で活かそうと、努力している。 ③個人研究に対して計画的に進めている。 ④個人研究の発表の場で最後まで行うことができる。 ⑤ゼミ活動において自分の役割を果たすことができる。 B(良) = ① + ② + ③ + ④ + ⑤ C(可) = ① ~ ⑤のうち3項目以上できる。

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	<前期> オリエンテーション ゼミテーマ、年間計画及び運営方法等について	講義・グループ討議 レポート提出(フィードバック)	ゼミの方針を理解できる。 年間計画及び運営について自分の意見を持ち自分の役割を理解できる。	(復習)ゼミのテーマ、年間計画を再確認する。 (予習)ゼミテーマに合う、自分の研究テーマについて考えておく。	90	主体性 計画力 創造力 傾聴力 規律性
2週 /	ゼミテーマ及び個人研究テーマについて 個人研究の年間計画策定	講義・グループ討議 演習 レポート提出(フィードバック)	ゼミテーマを理解し、自分の研究テーマを決めることができる。自分の年間計画を立てることができる。	(復習)個人研究とゼミの年間計画を自分のスケジュールに落とし込む。 (予習)ゼミ生の研究テーマに参考となりそうな手元の資料を探す。	90	主体性 課題発見力 計画力 創造力 発信力
3週 /	個人研究テーマに必要な情報収集について	講義・演習 レポート提出(フィードバック)	研究テーマに必要な情報収集の仕方を理解することができる。	(復習)ゼミ生から提供された資料一覧に目を通す。 (予習)ゼミ生から提供された資料一覧の中で、自分の研究に参考になりそうな資料を読む。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
4週 /	研究テーマのまとめ方	講義・演習 レポート提出(フィードバック)	研究テーマのまとめ方を理解することができる。	(復習)自分の研究テーマに沿ったまとめ方を再検討する。 (予習)自分の研究テーマにおいてどの分野から始めるか検討する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
5週 /	個人のテーマに沿った研究	講義・演習 レポート提出(フィードバック)	自分のテーマに沿った研究をどのように進めてよいか見通しが立っている。	(復習)授業内でできなかった個人研究の年間計画予定部分まで研究を進めておく。 (予習)次回授業内で行う研究の見通しを立てておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力
6週 /	個人のテーマに沿った研究	講義・演習 レポート提出(フィードバック)	個人研究を主体的に進めることができる。	(復習)授業内でできなかった個人研究の年間計画予定部分まで研究を進めておく。 (予習)次回授業内で行う研究の見通しを立てておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力
7週 /	個人のテーマに沿った研究	講義・演習 レポート提出(フィードバック)	個人研究における不明点は、まず自分で解決しようと努力している。	(復習)授業内でできなかった個人研究の年間計画予定部分まで研究を進めておく。 (予習)次回授業内で行う研究の見通しを立てておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力
8週 /	個人のテーマに沿った研究	講義・演習 レポート提出(フィードバック)	個人研究で調べても自己解決できない場合、諦めず質問することができる。	(復習)授業内でできなかった個人研究の年間計画予定部分まで研究を進めておく。 (予習)次回授業内で行う研究の見通しを立てておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力
9週 /	実践ビジネスマナー事前研修	講義・演習 レポート提出(フィードバック)	ビジネスマナーの実践に必要なスキルを身につけようと努力している。	(復習)授業で学んだビジネスマナーの再確認。 (予習)実践で活かす具体的な方法を考える。	90	働きかけ力 実行力 創造力 発信力 状況把握力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
10週 /	実践ビジネスマナー研修	演習 レポート提出(フィードバック)	ビジネスマナーの実践を積極的に行っている。	(復習)ビジネスマナーを思うように実践できなかった点について洗い出す。 (予習)振り返りを発表できるようにまとめておく。	90	働きかけ力 実行力 創造力 発信力 柔軟性 状況把握力 ストレスコントロール力
11週 /	実践ビジネスマナー事後研修	講義・演習 レポート提出(フィードバック)	ビジネスマナーの実践を振り返ることができる。	(復習)ゼミ生の発表内容をまとめ、自分と照らし合わせて考える。 (予習)個人研究の中間発表ができるように準備する。	90	働きかけ力 実行力 創造力 発信力 状況把握力 規律性
12週 /	個人研究の中間発表と相互評価①	演習 レポート提出(フィードバック)	個人研究の中間発表ができると共に、他者の発表に対して感想が言える。	(復習)個人研究の中間発表を振り返る。相互評価やフィードバックから反省点をまとめ、後半の研究にどう活かすか考え計画の再検討を行う。 (予習)ゼミ生全員の研究テーマ一覧に目を通しておく。	90	働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 ストレスコントロール力
13週 /	個人研究の中間発表と相互評価②	演習 レポート提出(フィードバック)	個人研究の中間発表ができると共に、他者の発表に対して感想が言える。	(復習)個人研究の中間発表を振り返る。相互評価やフィードバックから反省点をまとめ、後半の研究にどう活かすか考え計画の再検討を行う。 (予習)ゼミ生全員の研究テーマ一覧に目を通しておく。	90	働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 ストレスコントロール力
14週 /	個人研究の中間発表と相互評価③	演習 レポート提出(フィードバック)	個人研究の中間発表ができると共に、他者の発表に対して感想が言える。	(復習)個人研究の中間発表を振り返る。相互評価やフィードバックから反省点をまとめ、後半の研究にどう活かすか考え計画の再検討を行う。 (予習)ゼミ生全員の研究テーマ一覧に目を通しておく。	90	働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 ストレスコントロール力
15週 /	個人研究の中間発表と相互評価④ 前期総括	演習 レポート提出(フィードバック)	個人研究の中間発表ができると共に、他者の発表に対して感想が言える。	(復習)個人研究の中間発表を振り返る。相互評価やフィードバックから反省点をまとめ、後半の研究にどう活かすか考え計画の再検討を行う。 (予習)ゼミの年間計画後期部分に目を通し、自分の役割について確認する。	90	働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 ストレスコントロール力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
16週 /	<後期> 社会人基礎力グランプリの準備 個人研究継続	講義・演習 グループ討議 レポート提出(フィードバック)	社会人基礎力グランプリの実施目的を理解できる。	(復習)社会人基礎力グランプリでの自分の役割をスケジュールに落とし込む。授業内でできなかった個人研究の年間計画予定部分まで研究を進める。 (予習)社会人基礎力グランプリ準備の次回目標を確認しておく。	90	働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 柔軟性 状況把握力
17週 /	社会人基礎力グランプリの準備 個人研究継続	演習・グループ討議 レポート提出(フィードバック)	社会人基礎力グランプリに向けて自分の役割を理解し、主体的に取り組んでいる。	(復習)授業内でできなかった社会人基礎力グランプリ計画の予定部分まで準備を進める。授業内でできなかった個人研究の年間計画予定部分まで研究を進める。 (予習)次回授業内で行う内容の見通しを立てておく。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 柔軟性 状況把握力
18週 /	社会人基礎力グランプリの準備 個人研究継続	演習・グループ討議 レポート提出(フィードバック)	社会人基礎力グランプリに向けて自分の役割を理解し、主体的に取り組んでいる。	(復習)授業内でできなかった社会人基礎力グランプリ計画の予定部分まで準備を進める。授業内でできなかった個人研究の年間計画予定部分まで研究を進める。 (予習)次回授業内で行う内容の見通しを立てておく。	90	働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 柔軟性 ストレスコントロール力
19週 /	社会人基礎力グランプリの準備 個人研究継続	演習・グループ討議 レポート提出(フィードバック)	社会人基礎力グランプリに向けて自分の役割を理解し、主体的に取り組んでいる。	(復習)授業内でできなかった社会人基礎力グランプリ計画の予定部分まで準備を進める。授業内でできなかった個人研究の年間計画予定部分まで研究を進める。 (予習)次回授業内で行う内容の見通しを立てておく。	90	働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 柔軟性 状況把握力
20週 /	社会人基礎力グランプリの準備 個人研究継続	演習・グループ討議 レポート提出(フィードバック)	社会人基礎力グランプリに向けて自分の役割を理解し、主体的に取り組んでいる。	(復習)授業内でできなかった社会人基礎力グランプリ計画の予定部分まで準備を進める。授業内でできなかった個人研究の年間計画予定部分まで研究を進める。 (予習)次回授業内で行う内容の見通しを立てておく。	90	働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 柔軟性 ストレスコントロール力
21週 /	社会人基礎力グランプリ リハーサル	演習 レポート提出(フィードバック)	社会人基礎力グランプリに向けて自分の役割を理解し、主体的に取り組んでいる。	(復習)授業内でできなかった社会人基礎力グランプリ計画の予定部分まで準備を進める。 (予習)次回授業内で行う内容の見通しを立てておく。	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 柔軟性 状況把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
22週 /	社会人基礎力グランプリリハーサル	演習 レポート提出(フィードバック)	社会人基礎力グランプリに向けて自分の役割を理解し、主体的に取り組んでいる。	(復習)授業内でできなかった社会人基礎力グランプリ計画の予定部分まで準備を進める。 (予習)次回授業内で行う内容の見通しを立てておく。	90	実行力 課題発見力 創造力 発信力 状況把握力
23週 /	社会人基礎力グランプリ振り返り 個人研究継続	演習・グループ討議 レポート提出(フィードバック)	社会人基礎力グランプリにおいて自分の役割を振り返ることができる。	(復習)社会人基礎力グランプリ全体についての感想をまとめる。 (予習)テーブルマナーに関する資料に目を通しておく。	90	働きかけ力 実行力 創造力 発信力 規律性
24週 /	テーブルマナー事前研修	講義・演習 レポート提出(フィードバック)	テーブルマナーの知識を身につけようと努力している。	(復習)授業で行ったテーブルマナーに関する知識を復習する。 (予習)テーブルマナーを学ぶにふさわしい身だしなみを整えておく。	90	課題発見力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
25週 /	テーブルマナー実践研修	講義・演習 レポート提出(フィードバック)	テーブルマナーの知識を実践しようと努力している。	(復習)うまくできなかったテーブルマナーについて振り返りまとめる。 (予習)個人研究の成果発表ができるように準備する。	90	主体性 実行力 課題発見力 柔軟性 状況把握力
26週 /	個人研究の成果発表とフィードバック①	演習 レポート提出(フィードバック)	個人研究の成果発表ができると共に、他者の発表に対して感想が言える。	(復習)個人研究の成果発表を振り返り、相互評価やフィードバックから反省点をまとめる。 (予習)ゼミ生全員の研究テーマ一覧に目を通しておく。	90	働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
27週 /	個人研究の成果発表とフィードバック②	演習 レポート提出(フィードバック)	個人研究の成果発表ができると共に、他者の発表に対して感想が言える。	(復習)個人研究の成果発表を振り返り、相互評価やフィードバックから反省点をまとめる。 (予習)ゼミ生全員の研究テーマ一覧に目を通しておく。	90	働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力
28週 /	個人研究の成果発表とフィードバック③	演習 レポート提出(フィードバック)	個人研究の成果発表ができると共に、他者の発表に対して感想が言える。	(復習)個人研究の成果発表を振り返り、相互評価やフィードバックから反省点をまとめる。 (予習)ゼミ生全員の研究テーマ一覧に目を通しておく。	90	働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
29週 /	個人研究の成果発表とフィードバック④	演習 レポート提出(フィードバック)	個人研究の成果発表ができると共に、他者の発表に対して感想が言える。	(復習)個人研究の成果発表を振り返り、相互評価やフィードバックから反省点をまとめる。 (予習)ゼミ生全員の研究テーマ一覧に目を通しておく。	90	実行力 創造力 発信力 傾聴力 ストレスコントロール力
30週 /	総括	講義・質疑応答 演習・グループ討議 レポート提出(フィードバック)	ゼミで学んだ1年間を振り返り、まとめることができる。	(復習)1年間のゼミ研究を振り返り、今後にどう活かしていくかまとめる。	90	働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109	総合ゼミナール Seminar (Health and Old welfare)	木村 典子	基礎	2	必修	2 年 前・後期
科目の概要						
<p>テーマ「健康について考えてみよう」</p> <p>健康は人生を生き抜いていくために必要不可欠なものです。今日、多くの健康法が論じられています。身体・精神・社会面からホリスティックに人間を捉え、健康について考えてみたいと思います。また、多世代との交流の場を設けます。企画、運営、振り返りを通して、計画力を養ってもらいたいと思っています。健康に関することをテーマにして、アンケートや聞き取りを通して、健康について考えていきたいと思っています。多くの課題を社会人基礎力の要素を意識し、一つ一つを丁寧に実践、振り返りを通して、また、「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を大切に、ゼミ生、多くの人たち交流して、特にチームで働く力の修得を目指していきます。</p> <p>また、健康に関する検定にゼミ生、全員でとりくみ、自分の健康、家族をはじめとした周囲の人たちの健康についてもアドバイスできる能力を養うことを目指します。</p>						
学修内容			到達目標			
<p>① 健康評価の質問紙などを活用して、自らの健康状態をアセスメントすることを学ぶ</p> <p>② 生活(生活リズム、食事、排泄、睡眠、活動、環境)と健康の関係を知り、自らの健康管理に結びつけることを学ぶ。</p> <p>③ 医療・福祉の現場に出かけ、体験的に現場の現状を学ぶ。</p> <p>④ 認知症カフェの運営、こどもまつり、高齢者サロン活動、学祭活動、健康調査を企画、運営、振り返りを通して、チームで働く力を身につけ、さまざまな年代の方と接して、健康とライフサイクルを学ぶ。</p> <p>⑤ ゼミ活動をまとめ、ゼミ内、学内外、の場で発表し、発信力を養う。</p> <p>⑥ 健康管理能力検定 3 級、2 級に向けて、挑戦をする。</p>			<p>①健康評価指標をもとに、自らの健康状態を把握し、よりよい状態を保つための健康管理について説明できる。</p> <p>②生活(生活リズム、食事、排泄、睡眠、活動、環境)と健康の関係を知り、自らの健康管理に結びつけ、説明できる。</p> <p>③医療・福祉現場の機能と役割について述べるができる</p> <p>④-1 認知症カフェの運営、こどもまつり、高齢者サロン活動、学祭活動、健康調査を企画、運営、振り返りを通して、チームで働く力を身につけ、十分に発揮することができる。</p> <p>④-2 活動を通して、さまざまな年代の方と接して、ライフサイクルの特徴と健康問題を説明できる。</p> <p>⑤ゼミ活動を他者に資料を作成して、わかりやすく伝えることができる。</p> <p>⑥健康管理能力検定 3 級、2 級に合格する。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素			学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例			
前に踏み出す力	主体性	自ら、必要な知識についてさらに深めた理解するために、教科書文献を使って、自己学習ノートを作成できる。時間割内の他の活動にも、積極的に参加できる。				
	働きかけ力	迷ったときや、困ったときに、他のメンバーや教員に助けを求めることができる。				
	実行力	目標(ゼミ活動、検定合格)を設定して、最後まで、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができる。				
考え抜く力	課題発見力	主観的情報、客観的情報を連動させて、課題を考えることができる。思いつきで行動しない。根拠あるデータをさぐることができる。				
	計画力	目標(ゼミ活動、検定合格)を明確にし、計画を立て、チームで共有し、実行し、評価・修正し、次の行動に結びつけることができる。				
	創造力	自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができる。				
チームで働く力	発信力	グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できる。				
	傾聴力	グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見がのべることができる。				
	柔軟性	自分と異なる意見や考えを理解し、お互い譲歩できるところみだし、活動につなげることができる。				
	状況把握力	メンバーの行動をみながら、自分の立ち位置を考え、行動できる。				
	規律性	特別な事情貸せない限り、欠席をしない。無断欠席、遅刻、私語などに支障をきたす行動をせず、欠席した場合の分の補充ができるよう、クラスのメンバーなど聞き、行うことができる				
	ストレスコントロール力	メンバーとの調整がとれない、計画どおり進まないことがあっても、その原因を分析し、他のメンバーと相談し、前向きに行動することができる。				
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト:なし。随時、授業で紹介していく。</p> <p>参考文献:なし</p>						
他科目との関連、資格との関連						
<p>他科目との関連:なし</p> <p>資格との関連:なし</p>						
学修上の助言			受講生とのルール			
事前、事後の学習を含め、具体的な事例を用いて解説したり、受講生の体験や意見を求めますので、日々、インターネットや新聞・雑誌等で情報収集に努めて、学習内容を理解するようにして下さい。事前に課題を出します。次回のグループワークにつながりますので行ってください。			講義と文献学習、実践、発表といった形式ですすすめていきます。学生参画型の授業をすすめていこうと考えています。授業では文献検索など、主体的に学習をして、健康について深めていってもらいます。多くの資料を読んでわかったことを自分の言葉で表現できることを求めています。また、授業態度は課題に対して社会人基礎力を培おうとしているか評価します。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	40	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓ ⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法が述べられている。 ・ライフサイクルと健康(子ども、成人、高齢者)についてまとめている。 ・生活(生活リズム、食事、排泄、睡眠、活動、環境)と健康の関係をまとめ、自己の健康に結びつけている。 ・見学を通して、施設の役割を述べている。 ・活動を通して、接した人達とのコミュニケーションを通して学んだことを文献を踏まえて述べている。 ・ゼミ活動を通して、自己の変化を振り返り、次の目標をもっている。
成果発表 (口頭・実技)	20	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓ ⑥	<ul style="list-style-type: none"> 授業の冒頭で、ゼミ活動の進捗状況確認のために発表を行う。 ・2分間の発表、ランダムに発表者を指定する。 ・注目すべき理由、表現の仕方、説明の明瞭さを評価する。 ゼミ活動について発する機会を学内外で設けるその場で、他者にわかりやすく伝えるための資料を作成し、工夫をして伝えることができる。
作品	20	① ② ③ ④ ✓ ⑤ ⑥ ✓	<ul style="list-style-type: none"> 「私の家族の健康マニュアル」が作成できる。 文献を活用して、エビデンスの高いデータをもとに、わかりやすく図や表を入れて作成できる。
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ✓ ② ✓ ③ ✓ ④ ✓ ⑤ ✓ ⑥ ✓	<ul style="list-style-type: none"> (主体性) 自ら、必要な知識についてさらに深めた理解するために、文献を使って、自己学習ノートを作成できている。ゼミ活動が円滑にすすむための資料を集めることができる。 (働きかけ力) 迷ったときや、困ったときに、他のメンバーや教員に助けることができる。 (実行力) 目標を設定して、最後まで、知識習得のために、最後まで、やりぬくことができている。 (課題発見力) 資料、教科書からわかったこと、自分の体験したことを、客観的に、連動させて考えることができている。 (計画力) 目標(ゼミ活動、検定合格)を明確にし、計画を立て、チームで共有し、実行し評価・修正し、次の行動に結びつけることができる。 (創造力) 課題を考えると、自己の固定観念にとらわれることなく、文献を活用したり、他者からの意見を取り入れ、考えることができている。 (発信力) グループで話し合った結果をパワーポイント・資料を作成し、発表原稿を準備し、発表できている。 (傾聴力) グループワークで、人の意見を確認し、さらに自分の意見がのべることができている。 (柔軟性) 自分と異なる意見や考えを理解し、お互い譲歩できるところみだし、活動につなげることができる。 (状況把握力) メンバーの行動をみながら、自分の立ち位置を考え、行動できる。 (規律性) 無断欠席、遅刻、私語など講義に支障をきたす行動をせず、欠席した場合の分の補充ができるよう、クラスのメンバーなど聞き、行うことができている。 (ストレスコントロール力) メンバーとの調整がとれない、計画どおり進まないことがあっても、その原因を分析し、他のメンバーと相談し、前向きに行動することができる。
その他	10	④ ✓ ⑥ ✓	<ul style="list-style-type: none"> ゼミの学外での活動、自己学習ノート、検定へとりくみについて評価する。
総合評価割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>秀</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践し、他者にもアドバイスできる。 2.ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、常に次の目標をもつことが身についている。 3.ゼミ活動を企画・運営していくのに考えて、他のメンバーの意見を取り入れながら行え、タイムマネジメントができる。 4.レポート、作品が期日まででき、わかりやすく他者に説明することができる。 5.ゼミの時間割外での活動に積極的に参加することができる。 6.社会人基礎力に関する行動事例が達成できている。 <p>優</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践しているが、他者へのアドバイスできる。 2.ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、目標をもつことが身についている。 3.ゼミ活動を企画・運営していくのに考えて、他のメンバーの意見を取り入れながら行え、タイムマネジメントができる。 4.レポート、作品が期日まででき、わかりやすく他者に説明することができる。 5.ゼミの時間割外での活動に積極的に参加することができる。 6.社会人基礎力に関する行動事例がおおむね達成できている。 	<p>良</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践しようと努力がわかる。他者へアドバイスするにはかなりのコメントを要する 2.ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、次の目標につなげる行動がとれるようになってきている。 3.ゼミ活動を企画・運営していくのに考えて、他のメンバーの意見を取り入れようとしている努力が伺える。 4.レポート、作品が期日まででき、他者に説明することができる。 5.社会人基礎力に関する行動事例が達成しようと努力できる。 <p>可</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.自己の健康状態について指標を使い、健康管理方法を考察し、実践しようと努力がわかる。他者へアドバイスするにはかなりのコメントを要する 2.ゼミ活動を通して、接した人達、ゼミ生とのコミュニケーションを大切にし、自己の変化を振り返り、次の目標につなげる行動がとれるようになってきている。 3.ゼミ活動を企画・運営していくのに考えて、他のメンバーの意見を取り入れようとしている努力が伺える。 4.レポート、作品をしあげるのに、かなりのアドバイスを要し、仕上げるができる。 5.社会人基礎力に関する行動事例が達成しようと努力できる。

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	・オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の進め方について ・ゼミの運営方法について ・私の思い出のお菓子と回想法	講義と演習	ゼミの方針を理解する 役割分担に積極的に協力する	(復習)自分のやりた いことをまとめてレポ ートにする (予習)まちづくりプロ ジェクトの発表の準備 をする。 私の思い出のお菓子 の歴史と自分の成長 をリンクさせて考えて みる	90	主体性 発信力 課題発 見力 傾聴力 ストレスコ ントロール力
2週 / 3週 /	生デまちづくりプロジェクト 矢作地区のまち歩き、市役所の 統計データ、先輩の活動から、 矢作北地域の特徴を調査する。	学外調査	地域の地理的特徴や歴史 について図書館で調べた り、地域の人々に聞き取り 調査をしたりするなどの行 動がとれる	(復習) まち歩き、調査の結果 をまとめる。 (予習) PP で、発表できるよう にする。学泉サロンで の内容の企画を計画 してくる。	90	主体性 実行力 課題発 見力 実行力 傾聴力 ストレスコ ントロール 力
4週 / 5週 /	私の成長と私の思い出のお菓子	発表 講義(回想法とは) 演習	回想法の効用と行い方 について理解する。	(復習) 回想法についてまと める。 (予習) 認知症カフェ、サロン 活動のレクリエーショ ンとして活用できる回 想法のツールを作成 する。		主体性 発信力 課題発 見力 実行力 傾聴力 ストレスコ ントロール 力
6週 / 7週 /	自分でできる健康度 客観的健康指標を使って、今の 健康状態を評価する。 血圧、脈拍、アミラーゼ、皮膚の 弾力性	発表 演習	客観的健康指標を使っ て、今の健康状態を評価し ていき、自分の健康につい て考えることができる。	(復習)自己の健康管 理のレポート作成をす る。 (予習) ストレスと自律神経に ついてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発 見力 実行力 傾聴力 発信力
8週 /	心の健康と自己コントロール。 文献を読んで、心の健康につ いて考えていきます。	発表 演習	文献を読んで、自分の意 見を発表できる。	(復習)発表のための 資料作成 心の健康 手記を読んで考えた こと (予習) まちづくりプロジェクト の企画を考えてくる。 地域と防災について 調べる。	90	主体性 実行力 課題発 見力 実行力 傾聴力 発信力
9週 /	生デまちづくりプロジェクト 企画を考えていきます。 よりよいサロンの提案を、KJ 法を 用いて、みんなで検討してい きます。昨年地域住民からと ったデータ、実際の活動から考 える	演習 発表	よりよいサロンについて、 自分の言葉で説明できる。	(予習) 皮膚感覚の解剖生理 について調べてくる アロマセラピーの効用		主体性 実行力 課題発 見力 実行力 傾聴力 発信力 創造力
10週 / 11週 /	アロマセラピーの効果について 調べ、福祉現場で実施する。 触れるケア 背部マッサージ ハンドマッサージ	発表 実験 エッセンシャルオイル によってのアミラーゼ の変化 演習	アロマセラピーの効果につ いて調べ、福祉現場で実 施の企画、運営、振り返り ができる。	(復習)企画書の作 成、実施後の振り返り の報告書作成 (予習) 生活と健康につい て、ゼミで分担して調 べる	90	主体性 実行力 課題発 見力 実行力 傾聴力 発信力
12週 / 13週 /	生活リズム(日内リズム、睡眠、活 動)と健康 認知症カフェ、こどもまつりに参 加するために、企画書を計画 し、予行練習する。	発表 講義 演習	生活リズム(日内リズム、睡 眠、活動)と健康の関係に ついて説明できる。 企画、運営、振り返りがで きる。	(復習)認知症カフ ェ、こどもまつり企 画書の作成、実施後 の振り返りの報告書作 成 (予習)	90	主体性 実行力 課題発 見力 実行力 傾聴力 発信力 ストレス コントロール 力
14週 / 15週 /	生デまちづくりプロジェクト よりよいサロンの提案 今までのサロン活動、認知症カ フェ活動、まち歩き、調査したデ ータをもとに、よりよいサロンの提 案ができる。	演習 発表	A3 一枚に、わかりやすく、 矢作北地域の特徴をまと め、			主体性 実行力 課題発 見力 実行力 傾聴力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
16週 17週 /	学校祭に参加について検討	演習 発表 演習	企画、運営、振り返りができる。	(復習)企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成 (予習)学校祭に向けて、より良い品が提供できるように近隣のスーパーの市場調査ができる。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 発信力 計画力
18週 19週 /	生デまちづくりプロジェクト 認知症カフェに参加のための企画と準備	演習 発表	企画、運営、振り返りができる。	(復習)企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成 (予習)学内グランプリの案を各自、考えてくる。	180	主体性 実行力 課題発見力 実行力 傾聴力 発信力 計画力 計画力 計画力
20週 21週 /	学内グランプリに向けて、チームで、役割分担を決め、進める	演習	具体的な行程表が作成でき、実施するためにメンバーと連絡がとれる。	(復習)企画書の作成、実施後の振り返りの報告書作成 (予習)健康に関する資料(意中誌)を収集し、書いてあることをまとめる。		主体性 実行力 課題発見力 実行力 傾聴力 発信力 計画力 計画力 状況把握力
22週 23週 24週 /	健康に関する調査を実施し、統計処理をし、まとめる。 KJ法にて質問紙を作成していく。 作った質問紙のプレ調査を実施 修正 調査の実施 統計処理 各分担で表、図の作成 発表資料の作成	発表 演習	各自の分担されたデータ処理し、まとめることができる。	(復習)分担されたデータ処理し、まとめ、進捗状況を毎回、発表し、チームで話し合いができる資料を作成する。 (予習)ウォーキングの効用、矢作北地域の特徴を調べる。		主体性 実行力 課題発見力 実行力 傾聴力 発信力 計画力 計画力 ストレスコントロール力 状況把握力
25週 26週 /	ウォーキングの効用を調べ、矢作北地域の特徴を活かしたウォーキングマップの作成とウォーキングの実施	発表 演習	チームで分担し、ウォーキングマップが作成できる。	(復習)チームで分担された資料を作成する。 (予習)我が家の健康問題を考えてくる。		主体性 実行力 課題発見力 実行力 傾聴力 発信力 計画力
27週 28週 /	我が家の健康マニュアルの作成 家族の健康状態を客観的データをもとに分析する。 健康を保つために	発表 演習	我が家の健康マニュアルの作成できる。	(復習)我が家の健康マニュアルの作成する。 (予習)一年のゼミ活動を発表するための資料を収集する。		主体性 実行力 課題発見力 実行力 傾聴力 発信力 計画力
29週 30週 /	ゼミ活動の発表 学生フォーラムなど学外で、ゼミ活動の成果を発表	演習	具体的な行程表が作成でき、実施するためにメンバーと連絡がとれる。	(復習)一年のゼミ活動を振り返り、自己学習ノートを整理、作成	180	主体性 実行力 課題発見力 実行力 傾聴力 発信力 計画力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109	総合ゼミナール Seminar (Food and nutrition)	後藤 恵子	基礎	2	必修	2年 前・後期

科目の概要

自立した社会人として自己の能力を十分に生かして社会に貢献するためには、健康な体と健全な精神の持続が不可欠である。「食へることは生きること！」であり、食をおいしさ、文化、栄養面、安全性、ビジネスなど様々な面から考え、食の大切さを理解することは、社会人としての基礎をつくることでもある。具体的には、興味を持ったテーマやレシピコンテスト、学祭、まちづくりのサロン活動などに合わせた献立やレシピを作成し、実際に調理を行って、実践力を身につける。そして、実践の中で一つ一つの課題を、社会人基礎力の要素を意識し、常に「真心・努力・奉仕・感謝」の建学の精神を大切にしながらゼミ活動を行い、健康な体と健全な精神を修得することを目指している。また、フードスペシャリスト資格を目指す学生には、ゼミの各テーマが受験科目の復習となるよう配慮している。

学修内容	到達目標
① 食に関する活動(むらさき麦まつり、学祭、まちづくりプロジェクトなど)を通じて、おいしさ、栄養、安全、ビジネスなど食を多面的に考え、食のイベントの企画・運営ができる実践力を養う	① 食に関する活動に積極的に参加し、必要な情報を収集してイベントの計画を立て、実践できる
② ライフステージにおける食の特徴と重要性を理解する	② 離乳期、成人期、高齢期の食の特徴を知り、献立や調理方法を考えることができる
③ 自分の食生活について考察する	③ 自分の食生活の問題点を見つけ、改善方法を提示できる
④ 食文化とマナーについて知る	④ 「おせち料理」や「郷土料理」について歴史的な背景、使用する食材、食のマナー、調理方法などを調べ、実際に調理をしてレシピを完成させることができる
⑤ フードスペシャリスト資格試験や食生活アドバイザー検定試験に挑戦する	⑤ フードスペシャリスト資格や食生活アドバイザー検定 3 級を取得する

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例

前に踏み出す力	主体性	指示を待つのではなく、シラバスの予習・復習を読み、やるべきことを考えて次の準備や行動を起こす
	働きかけ力	自分では解決できないことがあった時は、そのままにせずゼミの仲間や先生に相談する
	実行力	ゼミの活動や資格試験・検定試験合格に向け、粘り強く取り組み、目標を達成する
考え抜く力	課題発見力	ゼミ活動の目標達成のために、自分の課題を考えて行動する
	計画力	イベント参加や資格試験・検定試験合格に向け、目標と目的を明確にして計画を立て、実行して問題点があれば修正・改善して実行する
	創造力	一つの知識からだけでなく、いろいろな知識を組み合わせるアイデアを考える
チームで働く力	発信力	相手の目(顔)を見て話し、相手が自分の話を正しく理解しているかどうか反応を見て、状況に合わせて話をする
	傾聴力	話を聞く時は、うなずきやあいづちをし、大事なことはメモをとりながら聞く
	柔軟性	自分と異なる意見や考えも理解しようと努め、よりよい方向に向かって譲歩しながらゼミ活動を進める
	状況把握力	仲間の行動を見ながら、自分の立場や役割を考えて行動する
	規律性	体調不良以外、授業やイベントに欠席しない 調理実習時は、身支度を整え、衛生面、安全面に配慮をする
	ストレスコントロール力	ストレスを自己の成長のチャンスだと捉え、その原因を冷静に分析したり、ゼミの仲間や先生に相談したりして、前向きに取り組むようにする

テキスト及び参考文献

テキスト:なし。必要に応じて、資料を配布する。
参考文献:なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:フードクリエイティブ、フードスペシャリスト関連科目
資格との関連:なし

学習上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から自分や家族の食事に関心を持ち、健康的な食生活を送るよう努力して欲しい ・料理をする機会を多く持ち、知識と技術を習得し、レシピコンテストに積極的に参加して欲しい ・食に関する情報に関心を持って欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習を行う時は、準備・後片付けの時間も必要となるため、ゼミの時間を延長することもある ・授業に必要な費用についてはオリエンテーションで提示する ・調理実習時は、身だしなみ(白衣、三角巾着用、爪を切る、アクセサリー、ネイルはつけないなど)に注意する。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	35	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ゼミで取り組んだテーマについてまとめ、レポートにして提出する むらさき麦まつり、イタリアン料理、離乳食、まちづくりプロジェクトへの参加、自分の食生活、学祭への参加、おせち料理、郷土料理について、取り組んだ内容、結果、感想(社会人基礎力を含む)についてまとめる レポートの提出期日は厳守する
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
成果発表(口頭・実技)	15	①		<ul style="list-style-type: none"> ゼミ活動をまとめ、その成果をパワーポイントで発表する
		②		
		③		
		④	✓	
		⑤		
作品	30	①		<ul style="list-style-type: none"> 「おせち料理」または「郷土料理」について、歴史的な背景、使用する食材、食のマナー、調理方法などを調べ、実際に調理をしてレシピを完成させる ゼミでまとめてレシピ集を作成する
		②		
		③		
		④	✓	
		⑤		
社会人基礎力(授業態度)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> (主体性) 予習・復習をしゼミ活動が円滑に行えるように準備することができる (働きかけ力) わからないことがあった時、周囲に質問や相談ができる (実行力) 自分が立てた目標に対して粘り強く取り組んでいる (課題発見力) ゼミ活動がスムーズに行えるよう絶えず課題を考えて行動している (計画力) 目標に向けて計画を立て、PDCAサイクルを活用している (創造力) ゼミ活動のいろいろなテーマに対して1つ以上のアイデアを出すことができる (発信力) 相手がわかるように話をするすることができる (傾聴力) 話を聞く時はメモをとりながら聞くことができる (柔軟性) 人の意見を最後まで聞き、理解しようと努力できる (状況把握力) 仲間の行動を見ながら自分の立場や役割を考慮して行動できる (規律性) 受講態度が悪い場合は減点する(遅刻、欠席、学習意欲欠如、課題やその他の提出物の未提出、グループ活動への非協力など) (ストレスコントロール力) ストレスを抱え込まず、周りの人に相談できる
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
その他	10	①		<ul style="list-style-type: none"> レシピコンテストやフードスペシャリスト資格試験への挑戦など積極的な取り組みを評価する
		②		
		③		
		④		
		⑤	✓	
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>時間割に充てられた以外にも積極的にゼミ活動を行うことができる(①) ゼミ活動で取り上げるテーマについて事前に調べ、グループ討議では、自分の意見を積極的に発表し、意見をまとめることができる(②) レシピ集の制作に積極的に参加し、表紙やあとがきなどを分担し、よりよい作品に仕上げるよう努力できる(③) フードスペシャリスト試験、食生活アドバイザー検定に合格したり、レシピコンテストに参加して入賞するなど、積極的にゼミ活動を行う(④)</p> <p>S(秀) = ① + ② + ③ または ④、A(優) = ① + ②</p>	<p>時間割に充てられた以外にも積極的にゼミ活動を行うことができる(①) ゼミ活動で取り上げるテーマについて事前に調べ、グループ討議では、自分の意見を発表することができる(②) レシピ集の制作に参加し、よりよい作品に仕上げるよう努力できる(③)</p> <p>B(良) = ① + ② + ③、C(可) = ① + ②</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1回 /	・オリエンテーション ・自己紹介 ・授業の進め方について ・ゼミの運営方法について	講義	ゼミの方針を理解する 役割分担に積極的に協力する	(復習)自分のやりたいことをまとめてレポートにする (予習)まちづくりプロジェクトの発表(1人3分)の準備をする	90	主体性 課題発見力 傾聴力 ストレスコントロール力
2回 /	生デまちづくりプロジェクト(GP) ・2月、3月の活動を振り返り各自の今までの取り組みを発表 ・ゼミとしての活動目標・内容を検討し、役割分担をする	発表 グループ討議	まちづくりプロジェクトの振り返りを発表し、今後の活動の目標を立てることができる	(復習)自分や仲間の振り返りをまとめ、ゼミとして取り組みや今後の計画をPDCAサイクルを使ってまとめ、一覧表にする	90	主体性 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力
3回 /	生デまちづくりプロジェクト(GP) ・矢作地区の概要を知る:グループに分かれ、テーマを決めて調査や情報収集をする	学外調査	地域の地理的特徴や歴史について図書館で調べたり、地域の人々に聞き取り調査をしたりするなどの行動がとれる	(復習)調べたり、聞き取り調査の結果をまとめる (予習)むらさき麦についてその特徴と活用方法を考える	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 傾聴力
4回 /	食品・食材について知る ・むらさき麦お菓子グランプリの説明とゼミの係り方についての相談 生デまちづくりプロジェクト ・報告とサロン活動のお菓子づくりの計画	グループ討議	むらさき麦について特徴や食材としての利用方法を調べることができる	(復習)むらさき麦を使ったお菓子のレシピを作成する (予習)サロン活動用のお菓子を考える	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 傾聴力
5回 /	食品・食材について知る ・むらさき麦お菓子の考案と発表(個人) 生デまちづくりプロジェクト ・お菓子の提案・決定	演習	むらさき麦を使ったお菓子のレシピを考案し、発表することができる サロン活動用のお菓子の提案ができる	(復習)レシピの修正 予習:実習材料を準備する	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力
6回 /	食品・食材について知る ・むらさき麦お菓子の作成(個人)と試食	実習・グループ討議 グランプリでの入賞をめざして積極的に意見を言う	考案したお菓子を作成し、評価することができる(意見がもらえる)	(復習)決定したレシピの作成 学外実習前日の準備(菓子の作成、パッケージの準備など)	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 規律性
7回 /	食品・食材について知る ・むらさき麦お菓子グランプリへの参加	学外実習	自分の役割を理解して行動することができる	(復習)学外実習を振り返ってレポート作成 (予習)イタリアン料理について、特徴や食材、料理方法、マナーについて調べる	90	主体性 働きかけ力 実行力 規律性
8回 /	身近な食について考える ・持参した昼食を使って、自分の食事について考えてみる(ヘルシープレート使用)	講義・演習	自分の食生活を振り返り、食事のバランス、量が適正であるかどうかヘルシープレートを使って判断できる	準備:食事のバランスをみるために日常の昼食を持つてくる (復習)自分の食生活を振り返りバランスのよい昼食を考える	90	主体性 課題発見力
9回 /	身近な食について考える ・持参した昼食を使って、バランスのよい食事について考えてみる(ヘルシープレート使用)	講義・実習 2,3回目の内容をまとめてレポート提出	前回学んだことをヘルシープレートを使って、修正できる	準備:バランスのよい昼食を持つてくる (復習)レポート作成 (予習)むらさき麦について調べてくる	90	主体性 実行力 創造力
10回 / 11回 /	フードコーディネーター 食空間のコーディネーターについて、外部講師を招き食事のマナーや料理の写真的撮り方について学ぶ(外部講師:竹川洋一郎先生)	実習 講師に積極的に質問する 実習レシピの提出	仲間と協力して料理を作り、実習のレシピを完成させることができる イタリアン料理の特徴について説明できる	(復習)実習レシピ(写真もつける)とイタリアン料理の特徴などをまとめてレポート作成 (予習)離乳食、介護食について特徴と調理方法について調べてくる	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
12回 /	ライフステージ別の健康と食事について考える 調べてきたことを発表する	講義・発表	乳児期、離乳期、高齢期のいずれかについてその特徴と栄養について調べたことを発表できる	(復習)乳児期・離乳期・高齢期の特徴と栄養についてまとめる 幼児期のおやつを考えてくる	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力
13回 / 14回 /	ライフステージ別の健康と食事について考える ・離乳食、介護食実習(お粥をつくる、離乳期のおやつをつくる、ベビーフード、介護食の試食)	調理実習 実習レポートの提出	離乳食の基本を理解し、発達段階に応じて調理ができる(にんじんを使って調理できる)	準備:離乳食・介護食・幼児期のおやつ実習の材料を準備する (復習)実習レポートの作成	180	主体性 課題発見力 規律性
15回 /	生デまちづくりプロジェクト(GP) ・反省と後期の計画 前期のまとめ 夏休みの間の学修計画	演習 グループ討議	前期まちづくりプロジェクトの反省から課題を見出し、後期のまちづくりプロジェクトへの提案ができる 資格試験に向けての計画を作成できる	(復習)前期を振り返ってゼミ活動について感想を書く 資格試験の過去問題を解く	90	主体性 課題発見力 計画力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
16回 17回 /	学泉祭への出店(1) ・学泉祭に模擬店を出店する 何を提供するか、マーケティングから始め、試作を重ね、商品の開発、試作、包装、販売方法、役割分担など検討する	グループ討議	仲間と協力して、模擬店の商品をつくることができる	(復習) 模擬店運営のために必要なことを各自考えてくる 必要に応じて、材料を集めてくる	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 計画力 創造力
18回 19回 /	学泉祭への出店(2) ・模擬店の運営の計画を立てる 生デまちづくりプロジェクト(GP) ・サロン活動の計画とお菓子づくり	グループ活動 実習	自分の役割を理解し、仲間と協力して模擬店を運営することができる	(復習) 必要に応じて、材料を集めてくる 学泉祭の振り返り レシピの作成 (予習) サロン活動のお菓子を考えてくる	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 発信力 規律性
20回 21回 /	各自自分のテーマを考え、必要な情報を収集し活動を計画する ・フードスペシャリスト資格試験 ・まちづくりプロジェクトの計画	情報収集 グループ活動	フードスペシャリスト資格試験合格に向けて受験勉強の計画を立てることができる サロン活動のお菓子の提案ができる	(復習) サロン活動の役割を考えて計画表をつくる 受験者は、過去問題集や模擬試験の問題を繰り返し行う	180	主体性 計画力 傾聴力
22回 23回 24回 /	各自自分のテーマで活動する ・フードスペシャリスト資格試験の受験者は試験に向けて計画を立て、勉強を進める ・上記以外のものは、自分のテーマの情報を集める	情報収集 模擬試験・解説	各自自分のテーマを考え、必要な情報を収集し、レポートにまとめたり、フードスペシャリスト資格試験の受験者は試験に向けて計画を立て勉強をすることができる	(復習) レポート作成に必要な情報収集 受験者は、過去問題集や模擬試験の問題を繰り返し行う	270	主体性 実行力 課題発見力 ストレスコントロール力
25回 26回 27回 /	食文化を学び、継承する(1) 和食文化について学ぶ 「おせち料理」または「郷土料理」について考え、資料を集める	講義・演習	「おせち料理」または「郷土料理」について調べ、調理実習のためのレシピを考える	(予習) 「おせち料理」または「郷土料理」の資料や情報を集める 次回の調理実習材料を準備する	270	主体性 実行力 課題発見力 計画力
28回 29回 /	食文化を学び、継承する(2) 「おせち料理」または「郷土料理」の実習 料理の写真撮り	実習	「おせち料理」または「郷土料理」を作り、写真を撮ってレシピを完成させる	(復習) 「おせち料理」または「郷土料理」についてまとめる (予習) 発表のための準備 レシピ集作成のための準備	180	主体性 実行力 創造力 規律性
30回 /	食文化を学び、継承する(3) ・「おせち料理」または「郷土料理」のまとめとゼミ活動の発表 ・レシピ集の完成	発表 レシピ集完成	「おせち料理」または「郷土料理」をテーマに食文化について調べたことやゼミ活動のまとめを発表することができる	(復習) 「おせち料理」または「郷土料理」についてレポート提出	90	主体性 働きかけ力 実行力 創造力 発信力 柔軟性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109	総合ゼミナール Seminar (Computer Skills and Communication Skill)	菅瀬 君子	基礎	2	必修	2年前・後期

科目の概要

テーマ: パソコンスキルとコミュニケーションスキルを身につけよう!
 スマートフォンの普及によりパソコンが使われなくなり、パソコン操作に苦手意識をもつ若者が増えてきたという報告がある。このゼミでは、実務レベルで使えるパソコンスキルの習得をめざし、文書作成ソフト“word”とプレゼンテーション作成ソフト“Power Point”、表計算ソフト“Excel”の操作を学び実務力を身につける。さらに、パソコンの実践活動として「高齢者対象パソコン教室」を開催、また、対人関係能力「コミュニケーション力」を養うため、地域貢献活動・産学官連携活動に積極的に取り組み、世代間交流を図る。“社会人基礎力育成 12 の能力要素”、四大精神 “真心・努力・奉仕・感謝”を意識し、パソコンのスキルを活かした活動を実践する。ゼミの活動記録として「ゼミ思い出集」を制作する。個の力を高めチームで働く力を意識し人間性を高める。

学修内容	到達目標
①Microsoft の Word、Power Point、Excel の操作技術を学び、上級レベルの検定試験の受験合格をめざす。 ②パソコンの実践活動として「高齢者対象パソコン教室」を開催し、実務力を身につける。 ③地域貢献活動、地元の祭り「花の塔」、東北被災地復興支援活動、「子どもと親のための公開講座」への参加を通して、チームで働く力を身につけ、世代間交流を図りコミュニケーション力を身につける。 ④「ゼミ思い出集」Word の操作を駆使して作成。高度なパソコンスキルを身につける。	①パソコンのスキルを向上することによりパソコン操作に自信を持つことができ上級レベルの検定試験に合格できる。 ②「高齢者対象パソコン教室」を開催し、教えることにより、実務力が身についた。 ③地域貢献活動、地元の祭り、復興支援活動、公開講座への参加を通して、チームで働く力、図りコミュニケーション力が身についた。 ④「ゼミ思い出集」を制作することで、Word の操作技術の向上につなげることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例
前に踏み出す力	主体性 文書作成ソフト“word”とプレゼンテーション作成ソフト“Power Point”、表計算ソフト“Excel”検定試験(日本語ワープロ・文書デザイン・プレゼンテーション作成・情報処理)において、2 級以上に合格できるよう、授業時間外で自主的に粘り強く努力をすることができる。
	働きかけ力 自分で解決できない問題を、周囲の人に対し働きかけ協力をしてもらいすることができる。
	実行力 科目概要の内容を理解し、知識・技術を身につけ、グループまたは自分で立てた目標を達成できるように、具体的に行動を起こし、最後まで粘り強くやりぬくことができる。
考え抜く力	課題発見力 学修内容①～⑤の内容を理解し、達成目標に達成するために必要なことを整理し、自分の学修上の問題点を解決するために解決策を考えた。
	計画力 パソコンの操作を駆使し、地域活動に必要な缶バッジ、うちわ、コンテスト作品制作において、期日までに完成させるために必要な実施計画を提案できる力を養うことができる。
	創造力 授業で修得したことを応用し、缶バッジをデザインする際、独自のアイデアを表現できる。
チームで働く力	発信力 パソコンの操作方法の指導を受ける際、疑問点をわかりやすく説明することが、言葉だけでは伝えにくい場合は、パソコンのディスプレイを活用し説明する工夫ができる。
	傾聴力 指導者から、検定試験に合格するためのパソコン操作テクニックを受ける際、聴く姿勢が見られ、必要なことをメモする、不明な点は質問し、正しく理解する行動ができる。
	柔軟性 自分の意見・提案が他の人と異なっても、相手の意見を受け入れようとする姿勢をもつことができる。
	状況把握力 グループの仲間の行動を把握しながら、期日までに間に合うよう計画を立て完成させることができる。
	規律性 指示やルールは全て守り、自分の都合を優先しない。
ストレスコントロール力 時間の調整が取れず、計画通りに準備が進まないことがあっても前向きに行動することができる。	

テキスト及び参考文献

テキスト: なし

参考文献: 日本語ワープロ・文書デザイン・プレゼンテーション作成検定試験模擬問題集(日本情報処理検定協会編)

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連: コンピュータ基礎演習、Word 応用演習、Power Point 演習、Excel 基礎・応用演習、コミュニケーション能力開発

資格との関連: 情報処理士・ビジネス実務士・秘書士(メディカル)

学修上の助言	受講生とのルール
タイピングソフト「特打ちメソッド」での自主練習をしましょう。検定試験では、受験級合格のために、模擬問題集を活用しましょう。地域貢献活動では、ゼミの仲間とともに協力し、活動しましょう。ゼミ活動を通して自分の目標を達成するために粘り強く取り組みましょう。	地域貢献活動では、一丸となり取り組む姿勢を常に意識し、仲間に迷惑をかけないよう行動(遅刻・欠席など)することを心がけましょう。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験				
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品	60	①	<ul style="list-style-type: none"> ・缶バッジ・うちわ、文書デザインコンテスト制作において、オリジナリティあふれたデザインを提案できる。 ・「ゼミ集」は、1年間学んだパソコンスキルを最大限に生かした内容が Word で表現されている。 ・作品制作にあたり、各自で計画、準備など積極的に行動ができた。 	
		②		✓
		③		✓
		④		✓
		⑤		
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	<ul style="list-style-type: none"> 【主体性】3種の検定試験(日本語ワープロ・文書デザイン・プレゼンテーション作成)において、2級以上に合格できるよう、授業時間外で自主的に粘り強く努力をしている。 【実行力】本科目の到達目標、評価方法の基準を確認し、グループまたは自分で立てた目標を達成できるように、具体的に行動を起こした。 【課題発見力】学修内容①・②・③・④の内容を理解し、達成目標に達成するために、自分の学修上の問題点を解決するために解決策を考えている。 【創造力】授業で修得したことを応用し、缶バッジをデザインする際、独自のアイデアを考えている。 【発信力】パソコンのディスプレイを活用しわかりやすく工夫して伝えている。 【傾聴力】話を聴く姿勢が見られ、必要なことをメモする、不明な点は質問し、正しく理解する行動ができています。 【規律性】指示やルールは全て守り、行動している。 	
		②		✓
		③		✓
		④		✓
		⑤		✓
その他	30	①	<ul style="list-style-type: none"> 3種の検定試験(日本語ワープロ・文書デザイン・プレゼンテーション作成検定試験)2級以上の合格をめざし、粘り強く挑戦する姿勢をもつ。 チームで活動を進めるうえで、ゼミの仲間に積極的に働きかけ協力し、コミュニケーションを図れる。 ゼミ集は、ゼミで学んだパソコンスキルを随所に活かし、提出期限を守れる。 	
		②		✓
		③		✓
		④		✓
		⑤		✓
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)およびA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S(秀)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ①3種の検定試験(日本語ワープロ・文書デザイン・プレゼンテーション作成)において、2級以上に合格した。 ②パソコンの操作を駆使し、缶バッジ、うちわの作成、コンテスト作品制作において、オリジナリティにあふれたデザインを考える事ができている。 ③学外活動(地域貢献活動)において、主体的に活動に参加し、世代を超えた人々とコミュニケーションを図り、ゼミの仲間と共に協力し、よりよい活動にするために努力し取り組むことができている。 ④「ゼミ思い出集」制作を通して、Wordの操作を駆使し制作できた。 ⑤学習態度にある7項目が達成できている。 <p>A(優)評価</p> <p>上記項目①②③④ができている。⑤の学習態度にある7項目のうち【規律性】を含む6項目が達成できている。</p>	<p>B(良)評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ①3種の検定試験(日本語ワープロ・文書デザイン・プレゼンテーション作成)において、3級に合格した。 ②缶バッジ、うちわの作成、コンテスト作品制作において、パソコンの操作上、わからない操作を身に付け作品を完成できた。 ③学外活動(地域貢献活動)において、世代を超えた人々とコミュニケーションを図り、ゼミの仲間と共に協力し、よりよい活動にするために努力し取り組むことができている。 ④「ゼミ思い出集」制作を通して、Wordの操作を駆使し制作できた。 ⑤学習態度にある7項目のうち【規律性】を含む5項目が達成できている。 <p>C(可)評価</p> <p>上記項目①②③ができている。⑤の学習態度にある7項目のうち【規律性】を含む4項目が達成できている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	達成レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	○ガイダンス 前期ゼミ授業の進め方 ゼミ活動の取り組み概要説明 仲間つくりと育成する能力 ※タイピング練習	講義 ワーク	ゼミ活動を理解する ゼミ活動を通しての自身の 目標を決めることができる ※タイピング文字数 350	(予習)ゼミの内容 を把握する 活動を通してどの ように成長したい か目標を考える	60	傾聴力 計画力 課題発 見力
2週 / 3週 / 4週 /	学外活動「花のとう」祭りにブース参加 するため、役割分担と準備 “かわいい缶バッジをつくろう” ・来客者への記念バッジの制作 ・その他準備(缶バッジ原寸図、ポッ プ等) ・スタンプラリー景品の考案 ・当日の役割表、タイムスケジュール 作成 ※タイピング練習	演習 技術のレクチャー 活動準備のフィード バックをする	・パソコンで缶バッジ原寸 図に絵柄をデザインし、 バッジに仕上げることは できる (缶バッジマシンの取扱 い、記念缶バッジ制作) ※タイピング文字数 350	(予習) 「花のとう」での役 割を確認してくる。 缶バッジ原寸図の 絵柄のデザインを 考えてくる。 (復習)缶バッジマ シンの使い方を 復習しておく	90 90 90	傾聴力 発信力 計画力 課題発 見力
5週 /	学外活動「花のとう」での作業の確認 ・役割分担 ・タイムテーブル ・缶バッジマシンの仕様 ・缶バッジキッド制作	演習 技術のレクチャー 活動作業のフィード バックをする	缶バッジマシンの仕様 が正確に理解できてい る	(予習) 役割確認 (復習)缶バッジマ シンの仕様、タ イムテーブルの確 認する	120	傾聴力 発信力 計画力 創造力
6週 /	「花のとう」でのブース販売を実施 ・販売、接客を経験する ・来客者とのコミュニケーションを図る ・缶バッジの制作指導をする	学外活動 (実習) 活動後フィードバックをする	・集合時間を守り、仲間と 協力し活動ができる ・自分の担当した役割を果 たすことができる	(予習)缶バッジ材 料の確認をする 缶バッジの作り方 の手順の説明の 確認をする。	120	傾聴力 発信力 創造力 計画力 実行力 規律性
7週 /	「花のとう」活動の振り返り ・スライド作成 ・各自が発表 ・セルフチェックシートの活用	学外活動を振り返り 発表の フィードバックをする	活動の振り返り、意見が発 表できる	(予習) 活動のまとめ、発 表の準備をする	90	傾聴力 発信力
8週 / 9週 /	日本語ワープロ検定試験「準2級・2 級」レベルに出題される Word の機能 操作を学ぶ パソコンスピード認定試験準備と対策 をする	演習 日本語ワープロ検 定試験出題のフィ ードバックをする	ビジネス文書ルール、表と 地図の作成ができ、10分 間速度入力 400文字以上 が入力できる	(復習)効率よく地 図作成できる操作 を復習する タイピング練習	180	実行力 課題発 見力
10週 / 11週 /	文書デザイン検定試験「2級」・レベ ルに出題される Word の機能操作を学 ぶ パソコンスピード認定試験準備と対策 をする	演習 文書デザイン検 定試験出題のフィ ードバックをする	作成例に従い、画像挿入 塗りつぶし・図表作成が できる	(復習)作成例に 従い、処理条件を 正確に理解し復習 する	180	傾聴力 発信力 計画力 課題発 見力
12週 / 13週	プレゼンテーション作成検定試験 「3級・2級」に出題される Power Point の機能操作を学ぶ	演習 プレゼンテーション 作成検定試験出題 のフィードバックを する	スライドに、画像・図表・グ ラフ作成と挿入ができる アニメーション・画面切替 ができる	(復習)画像・図 表・グラフ作成、ア ニメーション・画面 切替操作を復習 する	180	実行力 課題発 見力
14週 /	日本語ワープロ・文書デザイン・プレ ゼンテーション作成検定試験 模擬試験を実施する 採点する(注意点を学ぶ)	演習 3種の検定試験模 擬出題のフィードバ ックをする	3種の検定試験を各自で 採点し、注意点が理解 できる	(予習) タイピング練習 (復習) 検定試験に向け 模擬問題を復習 する	90	実行力 課題発 見力 傾聴力
15週 /	・検定試験受験(1回目)実施 日本語ワープロ・文書デザイン・プ レゼンテーション・スピード認定 ・前期の振り返りと発表 ・セルフチェックシート ・後期に向けての確認	検定試験 検定試験のフィード バックをする 講義	・自分が受験した級の出題 問題に対し合格点に達 する解答ができた ・前期を振り返り、感想が 発表できる ・後期の改善点を話し合 うことができる。	(予習)受験する 検定試験の確認と 練習をする。	90	実行力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	達成レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
16週 /	○ガイダンス 前期の振り返り、後期のゼミ概要説明 後期ゼミ授業の進め方 仲間づくりと育成する能力	講義 演習	前期ゼミ活動で学んだことを活かした、更に上の目標を決める	(予習)後期ゼミ活動にむけ、更に高い目標を考える	60	傾聴力 計画力 課題発見力
17週 / 18週 / 19週 /	日本情報処理検定協会主催 文書デザインコンテスト応募概要説明 コンテスト作品準備(情報収集・デザイン) 応募作品の完成	講義 技術のレクチャー 演習	コンテスト締切日までに作品を完成させることができた	(予習)作品完成のために時間外でも準備(情報収集と現地調査)をする	90 90 90	傾聴力 発信力 計画力 課題発見力
20週 / 21週 /	「学泉祭」ブース出店準備 “缶バッジをつくろう” コハネット「with こども会」とコラボ ・役割分担を決める ・缶バッジの制作方法の練習(缶バッジマシーン) ・来客者とのコミュニケーションの取り方を練習する	演習 技術のレクチャー 準備作業について フィードバックをする	・パソコンで缶バッジ原寸図に絵柄をデザインし、バッジに仕上げるができる	(予習)前期に行った「花のとう」での役割を確認する (復習)缶バッジ原寸図に絵柄を挿入する操作確認をする	90 90	計画力 創造力 実行力
22週 /	岡崎市南公園「みなどんと遊ぼう」イベントへの参加準備 ・公園関係者との事前打ち合わせ ・みなどん缶バッジ原図準備 ・役割分担 ・タイムテーブル作成	講義 演習 技術のレクチャー 準備作業について フィードバックをする	パソコンで缶バッジ原寸図にみなどん絵柄をデザインができる	(予習)役割を確認する。缶バッジ原寸図の絵柄のデザインを考える (復習)缶バッジマシンの使い方を復習しておく	180	主体性 傾聴力 発信力 計画力
23週 /	岡崎市南公園「みなどんと遊ぼう」イベント活動 ・参加者とのコミュニケーションを図る ・缶バッジの制作指導をする	学外活動 (実習) 活動後フィードバックをする	・集合時間を守り、仲間と協力し活動ができる ・役割を果たせる ・参加者とコミュニケーションを図り楽しく活動することができる	(予習)缶バッジ材料の確認をする 缶バッジの作り方の確認をする。 役割を確認する	90	傾聴力 発信力 創造力 計画力 実行力 規律性
24週 / 25週 /	岡崎げんき館「子どもと親のための公開講座」準備 かわいい“クリスマスガーランド&缶バッジ”をつくろう！ ・ガーランドの制作(見本制作) ・当日の役割分担 ・タイムテーブル作成 ・受講者への説明練習	技術レクチャー 演習 準備作業について フィードバックをする	・クリスマスオーナメント・缶バッジの作り方をわかりやすく説明できる ・役割分担ができる	(予習)クリスマス関連のイラストをネットで検索する (復習)缶バッジ、クリスマスガーランドの作り方をわかりやすく説明できるよう繰り返し練習する	120 120	実行力 課題発見力
26週 /	岡崎げんき館「子どもと親のための公開講座」活動 ・受講者への説明 ・参加者とのコミュニケーションを図る ・缶バッジの制作指導をする ・クリスマスガーランドの制作指導をする。	学外活動 (実習)	・集合時間の厳守ができる ・役割を果たせる ・参加者とコミュニケーションを図り楽しく活動することができる	(予習)缶バッジ材料の確認をする 缶バッジの作り方の手順説明の確認をする。 (復習)活動の振り返りをする	120	傾聴力 発信力 創造力 計画力 実行力 規律性
27週 /	日本語ワープロ・文書デザイン・プレゼンテーション作成検定試験 模擬試験を実施する 採点する(注意点を学ぶ)	講義 演習 模擬試験 模擬試験のフィードバックをする	3種の検定試験を各自で採点し、注意点が理解できる	(予習)タイピング練習 (復習)検定試験に向け模擬問題を復習する	180	実行力 課題発見力
28週 /	検定試験受験(2回目) 模擬試験 日本語ワープロ・文書デザイン・プレゼンテーション・スピード認定	演習 検定試験	・自分が受験した級の出題問題に対し合格点に達する解答ができた	(予習)受験する検定試験の確認と練習をする。	180	実行力 課題発見力
29週 /	「ゼミ思い出集」作成準備 ・資料の収集 ・画像・図形・イラストを挿入して作成する	演習 技術のレクチャー ゼミ集作成のための フィードバックをする	資料を収集できる デザインを考えることができる	(予習)ゼミ集作成のための資料(情報収集)を集める デザインを考える	180	傾聴力 発信力 創造力 計画力 実行力 規律性
30週 /	「ゼミ思い出集」データ完成 1年間のゼミ活動の振り返り セルフチェックシート	技術のレクチャー 演習 1年間のゼミ活動の フィードバックをする	自身の短大2年間の思い出をWordで作成しまとめることができる	(予習)ゼミ集完成のために時間外でも準備をする	90	傾聴力 発信力 創造力 計画力 実行力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109	総合ゼミナール Seminar (Japanese Culture and Making Books)	千賀 敬之	基礎	2	必修	2年 前・後期

科目の概要

このゼミは、日本文化と和綴じ本づくりを通して、伝統と現代に生きる自分を探求しようとするものです。30回の授業を通して、前半は、この地域の衣食住や遊び、仕事などを、過去から現在まで調べ、地域や人々の特色を探りながら、ゼミ全体で協働して一冊の本を創作します。後半は、自分自身の興味・関心から、自己を表現するものとして、世界に一冊の自分の本を創作します。本づくりを通して日本文化を学修できればと考えています。

学修内容	到達目標
① 和綴じ本の製作方法を学ぶ。 ② 衣食住や遊び、仕事などを調査する方法を学ぶ。 ③ 本づくりのテーマを構想し、計画を立てる。 ④ グループでコミュニケーションを取り、発表する。 ⑤ 行事など具体的な場面で率先して動くことを学ぶ。	① 江戸時代の和綴じ本の複製を作ることができる。 ② 調査方法を考え、調査結果をまとめることができる。 ③ テーマを見つけ、その実現につとめることができる。 ④ 人の話を聞き、自分の意見を言うことができる。 ⑤ 円滑な行事運営ができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例**

前に踏み出す力	主体性	授業で取り組む調査や本づくりなどに、自ら積極的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	目標を定め、課題への取り組みを確実に進めていくことができる。
考え抜く力	課題発見力	地域の衣食住や遊び、仕事などの調査結果から、課題が何であるかを発見し、確認・把握することができる。
	計画力	各自またゼミ全体の作品制作について、タイムスケジュールを立てて、そのように実行できる。
	創造力	自分の考えるテーマについて、独自の表現ができ、和綴じ本などを創作できる。
チームで働く力	発信力	調査した内容、グループで話し合った内容、創作本の表現をポイントが伝わるように発表することができる。
	傾聴力	ゼミ活動の重点、他の学生の発表や創作の要点、グループ内の発言を的確につかみ、対応することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻・欠席・居眠り・私語をしないことや、準備・片付けの協力をするなど、社会一般の規則・ルール・マナーを常に心掛ける。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：なし、プリントを用意する。
参考文献：十返舎一九「的中地本問屋」「東海道中膝栗毛」歌川広重「東海道五十三次」葛飾北斎「北斎漫画」
愛知の文学、あいちウェブ文学館など

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし
資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
和綴じ本の製作方法を、江戸時代の和綴じ本の複製をすることで学修する。グループで製作する本について、テーマ・分担を話し合い、協力して制作する。各自の制作する本は、オリジナリティーのあるものとする。	地域社会・日本文化に興味・関心を持ち、積極的に調査や創作活動を行うこと。よく聞き、考え、課題に積極的に取り組み、話し合うことを通して、自己の表現力の向上に努めること。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	10	①	✓	現地調査や文献調査により、課題をよく調べ、わかりやすくまとめることができる。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)	20	①	✓	内容が充実してまとまりがあり、声がよく届き、わかりやすい発表である。 パワーポイントの制作や発表原稿のシナリオ制作で能力を発揮する。
		②	✓	
		③		
		④		
		⑤		
作品	60	①	✓	木版・色紙によるポチ袋が制作できる。 自ら選んだテーマで、双六が制作できる。 自ら選んだテーマで、和綴じ本が制作できる。 共同のテーマで、双六・和綴じ本が制作できる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
社会人基礎力 (授業態度)	10	①	✓	(主体性) 調査や作品制作に、積極的に取り組むことができる。 (実行力) 目標への取り組みを確実に進めていくことができる。 (課題発見力) 調査結果から課題を発見し、解決策を考察する。 (計画力) 各回で進める内容を、作業量や作業時間から計画を立てられる。 (創造力) 調査結果を踏まえて、独自の作品を創作できる。 (発信力) 聞き手に分かりやすく、自らの考えを発表できる。 (傾聴力) 他の者の話を聞き、課題を考察し、理解を深めることができる。 (規律性) 遅刻、欠席、学習意欲欠如をなくし、ゼミ進行に協力するなど、受講態度を整える。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>Sは、自ら進んで計画的に物事を進め、制作の仕方も丁寧で、その作品も優れている。演習・グループ学習とも積極的で、自己主張のみでなく、他者を配慮した議論が進められる。リーダーシップがあり、説得力のある発表ができる。欠席が2回以内で出席率が高い。</p> <p>Aは、上記内容をほぼ充足し、欠席が4回以内である。</p>	<p>Bは、自ら進んで物事を進め、制作の仕方も丁寧で、その作品は欠点はなく、まずまずである。演習・グループ学習ともよく加わり、進行に貢献する役割を果たすことができる。リーダーを補佐する役割を果たすことができる。欠席が6回以内である。</p> <p>Cは、上記内容をほぼ充足し、欠席が10回以内である。</p>

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	オリエンテーション ゼミナールの概要と年間計画 を学ぶ。	講義・演習	ゼミナールの概要と年間 計画を理解できる。	(予習) 年間のゼミ計 画の中に各自の目 標を位置付ける。	90	実行力 傾聴力 規律性
2週 /	和綴じ本の制作の仕方を学 ぶ。	演習・発表 前時の内容を振り返 る。	和綴じ本の仕組みを理解 できる。	(予習) 和綴じ本の構 造と材料、道具への 理解を深めておく。	90	実行力 傾聴力 規律性
3週 /	和綴じ本の制作の仕方を学 ぶ。	講義・演習 初めに和綴じ本の仕 組みを振り返る。	十返舎一九「的中地本問 屋」の複製を作ることが できる。	(復習) 製作手順を 理解する。ポイントに ついては復習する。	90	実行力 規律性
4週 /	和綴じ本の内容を学ぶ。	講義・演習 和綴じ本の工夫点を 復習する。	十返舎一九「的中地本問 屋」の内容が理解でき る。	(予習) 変体仮名を 翻刻した資料により、 本の内容を捉える。	90	主体性 傾聴力
5週 /	和綴じ本の内容を学ぶ。	講義・演習 前時の内容を復習 する。	十返舎一九「的中地本問 屋」の内容が理解でき る。	(予習) 変体仮名を 翻刻した資料により、 本の内容を捉える。	90	主体性 実行力 課題発 見力
6週 /	衣・食・住、遊び、仕事のテー マを選択し、昔と今の有様を調 査する。	講義・演習	選択した項目について、 図書館・インターネットな どから調査できる。	(予習) 文字情報だ けでなく画像情報も 調べ、スケッチに残 しておく。	90	主体性 実行力 課題発 見力
7週 /	衣・食・住、遊び、仕事のテー マを選択し、昔と今の有様をレ ポートにまとめる。	講義・演習 初めに調査のポイン トを振り返る。	調査した内容を、コンピュ ータで文書化できる。	(予習) 画像も含め、 A4で2ページに収ま るように準備する。	90	主体性 実行力 課題発 見力
8週 /	衣・食・住、遊び、仕事のテー マを選択し、昔と今の有様をレ ポートにまとめる。	講義・演習 文書化した内容を振 り返る。	調査した内容を、コンピュ ータで文書化できる。	(予習) 画像も含め、 A4で2ページに収ま るように準備する。	90	主体性 実行力 課題発 見力
9週 /	衣・食・住、遊び、仕事のテー マを選択し、昔と今の有様を発 表する。	講義・演習 文書化した内容を振 り返る。	調査した内容を、ゼミで 発表し、質疑応答でき る。	(予習) 自らのレポー トについて質疑応答 できるよう準備する。	90	発信力 傾聴力
10週 /	衣・食・住、遊び、仕事のテー マを選択し、昔と今の有様を発 表する。	講義・演習 前回の発表内容を 振り返る。	調査した内容を、ゼミで 発表し、質疑応答でき る。	(復習) 他者のレポー トについて、課題や 質問をまとめる。	90	発信力 傾聴力
11週 /	創作本・双六のテーマを考え る。	講義・演習	さまざまな創作本・双六の 内容が理解できる。	(予習) 提案する双 六のアイデアを考え ておく。	90	主体性 発信力 傾聴力 計画力
12週 /	創作本・双六のテーマを考え る。	講義・演習 初めに前回取り上げ た内容を振り返る。	制作する創作本・双六の テーマのアイデアを提案 できる。	(予習) 双六の方式・ 絵・言葉を考えてお く。	90	実行力 発信力 創造力 傾聴力 計画力
13週 /	創作本・双六を制作する。	講義・演習 それぞれのアイデア を確認する。	創作本・双六の作成計画 を立て、役割分担ができ る。	(予習) 制作に必要 な物品を揃える。	90	主体性 実行力 創造力
14週 /	創作本・双六を制作する。	講義・演習 役割分担と分担内 容を振り返る。	役割を分担した作成計画 に沿って、各自が分担し た部分の制作を進めるこ とができる。	(予習) 創作本・双六 の作画を行う。	90	実行力 主体性 創造力
15週 /	創作本・双六を制作するのと並 行して、パワーポイント・シナリ オの作成を進める。	講義・演習 各自の進み具合を 確認する。	作成計画に沿って、制作 を進めることができる。	(予習) 創作本・双六 の作画を行う。	90	実行力 主体性 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
16週 /	創作本・双六をデジタル化する とともに、実物の完成とパワー ポイント・シナリオの読み合わせ を行う。	講義・演習 制作物とパワーポ イント・発表を確認す る。	作成計画に沿って、制作 を進めることができる。	(予習)両方を制作 し、発表会での役割 分担を決める。	90	実行力 発信力 創造力 傾聴力
17週 /	古典文学に書かれたこの地域 の姿を学ぶ。	講義・演習 後半の内容を確認 する。	「更級日記」「今昔物語 集」「東関紀行」(三河部 分)の内容が理解できる。	(予習)それぞれの 作品の内容を発表 できるように準備す る。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力
18週 /	古典文学に書かれたこの地域 の姿を学ぶ。	講義・演習 初めに前回の内容 を復習する。	十返舎一九「東海道中膝 栗毛」(三河部分)の内 容が理解できる。	(予習)それぞれの 作品の内容を発表 できるように準備す る。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力
19週 /	近代・現代文学に書かれたこ の地域の姿を学ぶ。	講義・演習 古典に書かれたこの 地域を復習する。	柳田国男「海上の道」井 上靖「しろばんば」(三河 部分)の内容が理解でき る。	(予習)それぞれの 作品の内容を発表 できるように準備す る。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力
20週 /	近代・現代文学に書かれたこ の地域の姿を学ぶ。	講義・演習 初めに前回の内容 を復習する。	尾崎士郎「人生劇場」司 馬遼太郎「街道を行く」 (三河部分)の内容を理 解する。	(予習)それぞれの 作品の内容を発表 できるように準備す る。	90	主体性 実行力 発信力 傾聴力
21週 /	さまざまな和綴じ本を読む。	講義・演習 近現代に書かれたこ の地域を復習する。	喜多川歌麿「画本虫撰」 の内容が理解できる。	(予習)作品の優れ たところをまとめる。	90	課題発 見力 傾聴力
22週 /	さまざまな浮世絵を鑑賞する。	講義・演習 初めに「画本虫撰」 の内容を復習する。	歌川広重「東海道五十三 次」葛飾北斎「北斎漫画」 の内容が理解できる。	(予習)作品の優れ たところをまとめる。	90	課題発 見力 傾聴力
23週 /	オリジナル和綴じ本作品制作 構想	講義・演習 初めに「東海道五十 三次」「北斎漫画」を 復習する。	オリジナル和綴じ本創作 のテーマ及び内容の構 想を確定できる。	(予習)どのような和綴 じ本を制作するか、あ らかじめ構想してお く。	90	主体性 実行力 計画力
24週 /	オリジナル和綴じ本作品制作 計画	講義・演習	各ページごとの表現プラン を立てることができる。	(予習)各ページの 内容・進行について 計画を立てる。	90	主体性 実行力 計画力
25週 /	オリジナル和綴じ本作品制作	講義・演習 前回の計画案を確認 する。	ページごとの描画と文章 を進めることができる。	(予習)各ページの 表現を進める。	90	主体性 実行力 創造力
26週 /	オリジナル和綴じ本作品制作	講義・演習 初めに進捗状況を 発表する。	ページごとの描画と文章 を進めることができる。	(予習)各ページの 表現を進める。	90	主体性 実行力 創造力
27週 /	オリジナル和綴じ本作品制作	講義・演習 初めに進捗状況を 発表する。	ページごとの描画と文章 を進めることができる。	(予習)各ページの 表現を進める。	90	主体性 実行力 創造力
28週 /	オリジナル和綴じ本作品制作 デジタル化作業	講義・演習 初めに進捗状況を 発表する。	原本からデジタル化する ことができる。	(予習)文章をデジタ ル化した時の字体と ポイントをあらかじめ 考えておく。	90	主体性 実行力 創造力
29週 /	オリジナル和綴じ本作品制作 製本作業	講義・演習 デジタル化したもの を確認する。	オリジナル和綴じ本作品 の製本を行い、作品を完 成できる。	(予習)材料を整え、 製本する。	90	主体性 実行力 創造力
30週 /	オリジナル和綴じ本作品制作 鑑賞会	講義・演習 制作過程全体を振り 返る。	各自の作品を鑑賞しなが ら、相互批評すること ができる。	(復習)制作物を展 示し、1年間の成果 をまとめる。	90	実行力 発信力 創造力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109	総合ゼミナール Seminar (Fashion Produce)	長谷川 えり子	専門	2	必修	2年 前・後期
科目の概要						
テーマ:「ファッションプロデュース」 ファッションを通して、様々な視点から物事をとらえ、社会人として自立するための人間力を養っていく。ファッション業界(アパレル、ブライダル、ビューティーなど)の動向をとらえ、トレンドを分析する。また、ファッションビジネスプロジェクトとして、アクセサリショップを出店し、企画、制作、販売能力を養う。ゼミ活動を通して、様々なファッションシーンを体験することでファッション感覚を磨き、楽しみながらファッションセンスを向上させる。また、様々な活動の場面で建学の精神を実践し、社会人基礎力を発揮し、自らの可能性を伸ばしていく。						
学修内容			到達目標			
① ファッション業界(アパレル、ブライダル、ビューティ)について動向を捉え、トレンドを分析する			① 業界の現状を知り、しゅみを捉えることができる。			
② ファッションプロジェクト①(アクセサリ応募)全国展開するショップに採用される作品を制作する			② ファッション市場で売れるアクセサリをデザインし、プレゼンテーションができる。			
③ ファッションプロジェクト②(アクセサリショップ出店)学外、大学祭において、アクセサリショップで販売する商品制作する			③ アクセサリショップを出店するために、企画力、制作スキル、販売スキルを習得できる。			
④ ファッションプロジェクト③(アクセサリ講座)地域の方を対象にアクセサリ制作を伝授し、魅力を発信する			④ 地域の方を対象としたアクセサリ講座を実施し、もの作りの楽しさ、アクセサリの魅力を発信することができる。			
⑤ ファッションプロジェクト④(ファッションショー)にて、ゼミ活動の成果を発表する			⑤ ファッションシーンを通して、最適なファッション提案ができる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	ファッショントレンド情報を積極的にキャッチし、ファッション業界の商品のながれや動向を捉える。				
	働きかけ力					
	実行力	ファッションプロジェクトをチームで協力して進め、実行することができる。				
考え抜く力	課題発見力	ファッションプロジェクトを進める中で、目標を達成するための問題点を考えながら取り組む。				
	計画力	ファッションプロジェクトを進める中で、達成目標に対してスケジュールを計画し、途中で点検しながら実行する。				
	創造力	自分の好きなファッションだけでなく、様々なファッションスタイルを通して、新しい発想のもとアイデアを提案する。				
チームで働く力	発信力	ファッショントレンドをとらえ、分析し、シーンに合わせた提案ができる。				
	傾聴力	チーム活動では、周りの人の意見を十分に聞きながら行動する。				
	柔軟性	チーム活動では、お互いに思いやり、意見の相違があった場合でも理解し合って進めていく。				
	状況把握力					
	規律性	チーム活動では、時間、約束事を守り、早めの行動を心がける。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:なし 参考文献:なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:ファッションコーディネート演習、ファッションアクセサリーズ、ファッショントレンド演習、ショッププロデュース、アパレルCAD 資格との関連:なし						
学修上の助言			受講生とのルール			
普段からファッションに興味を持ち、様々なメディアを通して情報に触れよう。また、ファッション販売の現場にも出向き、トレンドを捉え、消費者の動向を観察しよう。			ゼミ活動を通して、ゼミ生相互の親睦をはかり、協調性を身につけ、お互いに成長できるように、目標に向かって努力しよう。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート			
成果発表 (口頭・実技)	30	① ② ③ ④ ⑤	① ファッションショーで作品を披露する。 ② ファッショントレンドを反映し、自己表現としてオリジナリティ溢れたファッションスタイルを評価する。 ③ 作品発表会後にショーDVDを視聴して作品の講評を行う。 ④ ⑤ ✓
作品	30	① ② ③ ④ ⑤	① アクセサリー作品を制作する。 ② ✓ ファッショントレンドをとらえ、季節、スタイルに合った作品を評価する。 ③ ✓ 細部にわたって、丁寧に制作できているかを確認する。 ④ 制作したアクセサリーは1点1点仕上がりを教員が確認する。不備な点は修正する。 ⑤
社会人基礎力 (学修態度)	10	① ② ③ ④ ⑤	① ✓ (主体性)ファッショントレンド情報を積極的にとらえ、活かされているかを作品(アクセサリー、衣裳)で評価する。 ② ✓ (実行力)チームで協力して進めることができているか、報告書より確認する。 ③ ✓ (課題発見力)目標を達成するための問題点を考えながら取り組むことができたかを報告書より確認する。 ④ ✓ (計画力)達成目標に対してスケジュールを途中で点検しながら実行できたかを判断する。 ⑤ ✓ (創造力)様々なファッションスタイルに刺激を受け、新しい発想のもとアイデアが提案できたを作品により評価する。 (発信力)チーム活動では自分の意見をわかりやすく伝えることができたか、活動状を評価する。 (傾聴力)チーム活動では、周りの意見をしっかりと聞きながら行動できたか、活動状況を評価する。 (規律性)チーム活動では、時間、約束事を守り、早めの行動ができたか、行動特性を評価する。
その他	30	① ② ③ ④ ⑤	① チームで活動を進めていくので、他のメンバーに積極的に働きかけ、上手くコミュニケーションをとること。 ② ✓ ③ ✓ 自分のポジションをとらえ、状況を把握した行動がとれる配慮を行うこと。 ④ ✓ ⑤ ✓ 以上については、実施報告書にまとめる
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
A:ファッションプロジェクトに対して、積極的に取り組み、チーム全体で成果を上げ、社会人基礎力の能力を実践できた。ファッションに関わることで、ファッションセンスが磨かれ、様々シーンのファッション提案ができる。 S:上記に加え、チーム全体に働きかけ、自己の成長ぶりが作品に成果として表現できている。	B:ファッションプロジェクトを理解し、チームで協力して実施することができた。ファッションを通して、自己表現することができる。 C:上記の基準に対して、プロジェクト活動に対して前向きな努力が見られない。

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	授業の進め方について ゼミ活動についての取り組み方の説明 メンバーの自己紹介を行う	講義と質疑応答	ゼミの目標を理解し、ゼミの概要がわかる	(予習)自己紹介を考える	60	傾聴力 発信力
2週 /	ファッション業界の概要について 就職を意識して、ファッション業界の現状を捉える	演習 教員の説明後、パソコンにより情報収集する。提出物を点検し、フィードバックする。	アパレル、ブライダル、ビューティ業界研究を行い、就職に備えることができる	(予習)ファッション業界の会社を調べる (復習)進路に合わせた業界の動向を調べる	60	実行力 傾聴力
3週 /	トレンド情報分析について 今季のトレンドについて、カラー、素材、デザインの面から捉える	演習 教員の説明後、パソコンにより情報収集する。提出物を点検し、フィードバックする。	今季のファッショントレンドについてコレクション映像やインターネットより情報を収集することができる	(予習)今季のトレンドをネットで検索する (復習)授業の内容をファッション雑誌で確認する	60	傾聴力 課題発見力
4週 /	アクセサリー業界の現状について (外部講師)	演習 外部講師によるレクチャーと演習	アクセサリー業界の現状を理解する	(復習)アクセサリーショップに行き、店内の動向を観察する	60	傾聴力 発信力 課題発見力
5週 /	ファッションアクセサリー制作① ラインストーンを使ったジュエールドコレを制作する	演習 教員説明後、作品を制作する。作品は、点検後フィードバックする。	ジュエールドコレの手法が理解できる	(予習)ラインストーンを使ったアクセサリーを調べる (復習)制作した作品のコーディネートを考え、着装する	90	創造力 発信力 実行力
6週 /	ファッションアクセサリー制作② 金具を使ったアクセサリーを制作する	演習 教員説明後、作品を制作する。作品は、点検後フィードバックする。	金具使用のアクセサリーの手法が理解できる	(復習)制作した作品のコーディネートを考え、着装する	90	創造力 発信力 実行力
7週 /	ファッションアクセサリー制作③ レジンによるアクセサリーを制作する	演習 教員説明後、作品を制作する。作品は、点検後フィードバックする。	レジン使用のアクセサリーの手法が理解できる	(予習)レジンを使ったアクセサリーを調べる (復習)制作した作品のコーディネートを考え、着装する	90	創造力 発信力 実行力
8週 /	アクセサリービジネスプレゼンテーション① 全国販売を目指したアクセサリーの企画	演習 企画する作品を制作する。	アクセサリーメーカーに対して、新しい価値、デザイン性を持ったアクセサリーを企画することができる	(復習)企画したアクセサリーの材料と作り方を考える	60	創造力 主体性 発信力
9週 /	アクセサリービジネスプレゼンテーション② 全国販売を目指したアクセサリーの制作	演習 企画する作品を制作する。作品は、点検後フィードバックする。	アクセサリーメーカーに対して、新しい価値、デザイン性を持ったアクセサリーを制作することができる	(復習)企画したアクセサリーを完成させる	120	課題発見力 発信力
10週 /	アクセサリービジネスプレゼンテーション③ 企画発表会のためのプレゼンテーションの準備	演習 企画発表する内容をPPにまとめる。	アクセサリーメーカーに対して、新しい価値、デザイン性を持ったアクセサリーを提案することができる	(予習)企画案をまとめる (復習)PPの発表原稿を作成する	120	創造力 実行力 発信力
11週 /	ファッションビジネスプロジェクト① (アクセサリーショップ)	演習 教員説明後、チーム活動で販売する商品を検討する。	秋季に出展するアクセサリーショップの企画ができる	(予習)販売したいアクセサリーを調べる	90	主体性 発信力 計画力
12週 /	ファッションビジネスプロジェクト② (アクセサリーショップ)	演習 教員説明後、チーム活動商品制作する。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品(ネックレス)制作ができる	(予習)本日の制作の内容を考える (復習)アクセサリー制作と修正	90	発信力 創造力
13週 /	ファッションビジネスプロジェクト③ (アクセサリーショップ)	演習 教員説明後、チーム活動商品制作する。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品(ピアス)制作ができる。	(予習)本日の制作の内容を考える (復習)アクセサリー制作と修正	90	発信力 実行力
14週 /	ファッションビジネスプロジェクト④ (アクセサリーショップ)	演習 教員説明後、チーム活動商品制作する。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品(ブレスレット)制作ができる。	(予習)本日の制作の内容を考える (復習)アクセサリー制作と修正	90	発信力 実行力
15週 /	ファッションビジネスプロジェクト⑤ (アクセサリーショップ)	演習 教員説明後、チーム活動商品制作する。商品は教員が点検し、フィードバックする。	秋季に出展するアクセサリーショップの商品(ヘア用)制作ができる。	(予習)本日の制作の内容を考える (復習)アクセサリー制作と修正	90	主体性 発信力 規律性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
16週 / 17週 / 18週 / /	研修旅行 学外活動を通して、ファッション 現場をとらえる	演習 研修旅行を実施 研修先-アパレルメー カー、化粧品メーカ ー、ブライダルコスチ ュームサロン、コレク ション見学など	ファッション関係の研修 を通して業界の現状を理 解できる	(予習)見学先での質 問を考える (復習)見学先の概要と 感想をまとめる	270	計画力 実行力 規律性
19週 / /	大学祭出店準備① 商品制作を行う	演習 教員説明後、チーム 活動で出店準備を行 う。	店舗ディスプレイの実際 を考え、各アイテムを制 作できる	(予習)Shopを訪問し、 ディスプレイ、POPを観 察する。	90	計画力 課題発 見力
20週 / /	大学祭出店準備② 商品制作を行う	演習 教員説明後、チーム 活動で、販売する商 品を制作する。商品 は教員が点検し、フィ ードバックする。	販売商品を制作できる	(復習)商品の品揃えを まとめる アクセサリー制作と修正	90	創造力 実行力
21週 / /	大学祭出店準備③ 商品管理として、価格設定と値 札つけを行う	演習 教員説明後、チーム 活動で、販売する商 品の価格設定、値札 付けを行う。	販売商品を制作し、価格 設定できる	(予習)一般小売店舗 商品の価格を調べる	90	発信力 実行力
23週 / 24週 / /	ファッションショー企画 トレンドを活かし、テーマ、制作 作品を考える	演習 教員説明後、全体で テーマ、担当を話し 合う。	ファッションショー実施に 向けて、企画案を練り、 検討できる	(予習)コレクションを鑑 賞する。ファッション雑 誌からトレンドをよみとる	180	計画力 主体性 創造力
25週 / 26週 / 27週 / /	ファッションショーアイテム制作 各自作品制作を行う	演習 発表する衣裳を制作 実習する。制作途中 で教員が点検(フィー ドバック)しながら、完 成させる。	ファッションショーで披露 するアイテムを制作でき る(衣裳 or アクセサリー)	(予習)本日の作業の 確認を行い、制作内容 を計画する (復習)衣裳制作を進め る	480	主体性 実行力 創造力
28週 / 29週 / /	ファッションショー準備 ショーの音楽、舞台演出を検討 する	演習 ゼミ全体で活動し、シ ョー演出を行う。	ファッションショーの演出 を考え、発表の準備がで きる	(予習)ステージで使用 する音楽を探す (復習)コレクションを鑑 賞する	180	主体性 実行力 発信力
30週 / /	ファッションショー作品発表会 学外プロジェクト成果発表会	演習 ファッションショー出 演、および学外活動 の成果発表を行う。	ファッションアートフィー ルドの卒業作品発表会 (ファッションショー)で発 表することができる	(復習)ビデオにより本 番を振り返る。	80	発信力 実行力 規律性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

平成 30 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109	総合ゼミナール Synthetic Seminar	秦 真人	基礎	2	必修	2年 前・後期
科目の概要						
<p>「レクリエーションとスポーツ文化」についてというテーマで、3つの課題を一年間かけて追究する。 現在、日本のスポーツ文化は競技スポーツと健康スポーツ、観るスペクテイター・スポーツといった3つのとらえ方ができる。レクリエーションの中にもスポーツ的要素をもつ活動があり、それらは健康スポーツと重なるところが多い。このゼミでは、総合的なスポーツ文化の理解から、身近なレクリエーションの話題を取り上げて体験的に学習する。そして、その中で建学の精神と社会人基礎力、pisa 型学力の修得をめざしていく。</p>						
学修内容			到達目標			
① 日常的に生活を豊かにするスポーツ・レクリエーションが習慣化されるようにする。 ② スポーツ・レクリエーションを通して、集団における社会性を身につける。 ③ スポーツやレクリエーションの基本的な技能を身につけ、基礎指導ができるようにする。 ④ スポーツ・レクリエーション種目の調査・研究により、スポーツ文化やレクに対する理解を深める。 ⑤ スポーツやレク活動を支える担い手となるための学びを実践する。			① 日常生活の中でスポーツ・レクリエーションが習慣化できる。 ② スポーツ・レクリエーション活動を通して社会性を身につけることができる。 ③ 基本的な技能を身につけ、基礎指導ができる。 ④ 調査・研究により、スポーツ文化やレクに対する理解を深めることができる。 ⑤ 活動を支える担い手の一人となることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例				
前に踏み出す力	主体性	スキル練習や試合において自分の役割を積極的に果たす。				
	働きかけ力	チームとして良好な活動ができるように、声かけをしたり提案をする。				
	実行力	個人スキルの向上やチーム目標に向かって粘り強く取り組み、目標を達成する。				
考え抜く力	課題発見力	自分のスキルやチームの弱点を分析し、課題を見つけて対処する。				
	計画力	チーム力の向上のために、段階的な練習計画をたてる。				
	創造力	新たな戦術・戦略を創り出す。				
チームで働く力	発信力	チーム内で戦術・戦略面で自分の考えを提案する。				
	傾聴力	チーム内で戦術・戦略面で、他人の考えをしっかりと把握する。				
	柔軟性	チーム内で戦術・戦略面で意見の相違があっても、柔軟に対処する。				
	状況把握力	練習または試合のなかで、どういう場面であるかを常に把握して対処する。				
	規律性	試合のルールを守る。				
	ストレスコントロール力	試合の中でピンチになっても、動揺せずに対処する。				
テキスト及び参考文献						
テキスト: 特になし。必要に応じて、各授業時間にプリントを配布。 参考文献: なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連: 「フィジカルトレーニング」、「エアロビクス」、「健康管理論」、「各スポーツ演習」「生涯スポーツ」など 資格との関連: (レクリエーションインストラクター、スポーツインストラクター)						
学習上の助言			受講生とのルール			
様々な写真や映像資料などを利用して、視覚による理解を深めるとともに、実体験をすることによってさらにレクリエーションとスポーツ文化についての理解を深める。前期はレクリエーション的スポーツの実践体験を中心に、後期は興味関心のあるスポーツやレクリエーションに関する資料・文献調査を中心に学習する			<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて更衣をし、室内シューズとタオルを準備する。 携帯電話は必要ないので持ち込まない。 無断欠席はしない。必ず連絡・報告する。 出席が必要回数に満たない場合は無資格となる。 			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	60	① ② ③ ④ ⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の課題に対して、しっかりと記録されているかどうかを評価する。 ・興味をもったスポーツの観戦または参加レポートから、スポーツやレクリエーションを見る力、支える力を理解したかどうかを評価する。 ・興味をもったスポーツ・レクリエーション種目を多角的に調べ、最終レポートとしてまとめたものからスポーツやレクリエーションの文化的な意味を理解しているかどうかを評価する。
成果発表(実技)	30	① ② ③ ④ ⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでスポーツまたはレクリエーション種目をゼミ内で運営実践し、その実践記録をまとめる。 ・学修内容について、しっかりと実践されているかどうか評価する。
作品			
社会人基礎力(学修態度)	10	① ② ③ ④ ⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・前項に明記した社会人基礎力に関する行動事例にも基づいて学修態度を評価する。 (主体性) スキル練習や試合において自分の役割を積極的に果たしているか。 (実行力) 個人スキルの向上やチーム目標に向かって粘り強く取り組み、目標を達成しているか。 (課題発見力) 自分のスキルやチームの弱点を分析し、課題を見つけて対処しているか。 (創造力) 新たな戦術・戦略を創り出しているか。 (発信力) チーム内で戦術・戦略面での自分の考えを提案することができるか。 (傾聴力) チーム内で戦術・戦略面で、他人の考えをしっかりと把握することができるか。 (規律性) 試合のルールを守られていたどうか評価する。
その他		① ② ③ ④ ⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻、欠席は減点する。 ・6回以上の欠席は不認定とする。ただし、授業に出席することは当たり前のことなので、出席点は加味しない。
総合評価割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>授業で学んだ様々な知識を体系的に理解し、自分に合った練習方法を見つけて実践し、著しく個人スキルとチームスキルの向上が図れる場合 A(優)。</p> <p>さらに、将来的に計画的に実践させることができると思われ、特に指導的立場にいると思われたら S(秀)となる。</p>	<p>授業で学んだ様々な知識を理解し、それを活かした練習計画が実践できると共に個人スキルの向上が図れた場合 B(良)。</p> <p>授業に参加し、個人スキルの向上が図れなくても、主体的に行動することができればC(可)である。</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週	一年間のゼミ活動全体の内容を理解する	教員からの説明と全員で計画案を作る	このゼミではどのような活動して、どういったことを身につけていくことができるかを理解することができる	(予習)スポーツとは、レクリエーションとは何かの意味を予習する(復習)計画を練る	90	課題発見力 傾聴力
2週	スポーツ文化とレクリエーションの意味を理解する	教員による講義(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	社会の中でのスポーツの位置づけとレクリエーションの意味をその変遷などから広く理解することができる	(予習)スポーツ文化について予習する(復習)スポーツとは、レクリエーションとは何か復習する	90	傾聴力
3週	スポーツ・レクリエーション運営実践に向けて計画する	教員からの説明と全員で計画案を作る(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	グループ分けにより、次回からの運営実践に向けて企画準備をすることができる	(予習・復習)各希望種目の調査とルールについて予習・復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力
4週	スポーツ・レクリエーションの運営を実践する ①	各グループ企画による運営(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営し、その実践の様子を記録し振り返ることができる	予習)・次の担当者は担当種目についての予習をする(復習)担当種目のまための記録することで復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
5週	スポーツ・レクリエーションの運営を実践する ②	各グループ企画による運営(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営し、その実践の様子を記録し振り返ることができる	予習)・次の担当者は担当種目についての予習をする(復習)担当種目のまための記録することで復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
6週	スポーツ・レクリエーションの運営を実践する ③	各グループ企画による運営(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営し、その実践の様子を記録し振り返ることができる	予習)・次の担当者は担当種目についての予習をする(復習)担当種目のまための記録することで復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
7週	スポーツ・レクリエーションの運営を実践する ④	各グループ企画による運営(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営し、その実践の様子を記録し振り返ることができる	予習)・次の担当者は担当種目についての予習をする(復習)担当種目のまための記録することで復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
8週	スポーツ・レクリエーションの運営を実践する ⑤	各グループ企画による運営(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営し、その実践の様子を記録し振り返ることができる	予習)・次の担当者は担当種目についての予習をする(復習)担当種目のまための記録することで復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
9週	スポーツ・レクリエーションの運営を実践する ⑥	各グループ企画による運営(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営し、その実践の様子を記録し振り返ることができる	予習)・次の担当者は担当種目についての予習をする(復習)担当種目のまための記録することで復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
10週	スポーツ・レクリエーションの運営を実践する ⑦	各グループ企画による運営(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営し、その実践の様子を記録し振り返ることができる	予習)・次の担当者は担当種目についての予習をする(復習)担当種目のまための記録することで復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
11週	スポーツ・レクリエーションの運営を実践する ⑧	各グループ企画による運営(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営し、その実践の様子を記録し振り返ることができる	予習)・次の担当者は担当種目についての予習をする(復習)担当種目のまための記録することで復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
12週	スポーツ・レクリエーションの運営を実践する ⑨	各グループ企画による運営(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	各グループが企画したスポーツ又はレクリエーションを実際に運営し、その実践の様子を記録し振り返ることができる	予習)・次の担当者は担当種目についての予習をする(復習)担当種目のまための記録することで復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
13週	スペクテイター・スポーツに対する理解する	教員による説明の後、実際に学外で演習する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	学外競技スポーツを観戦し、レクリエーションとしての見えるスポーツに対する理解を深めることができる。	(予習)スペクテイタースポーツとは何かについての予習をする(復習)希望種目についての調査とまための記録により復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
14週	アウトドア体験活動を理解し企画運営する	教員による説明の後、実際に学外で演習する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	BBQや野外企画を運営し、レクリエーションとしてのアウトドア活動について実践的に学ぶことができる	(予習)野外調理について予習する(復習)BBQや野外企画のまための記録することで復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 規律性
15週	前期のまとめを行う	教員からの説明と全員で反省会を行う(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	前期のゼミ活動を総括して、反省することができる	(予習・復習)前半期のまとめの記録をあらかじめ予習し、記録作成したのち活動内容を復習する	90	課題発見力 計画力 発信力 傾聴力

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
トレストロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
16週	後期ゼミ活動について理解する	教員からの説明と全員で後期の計画案を確認する	後半のゼミでは、どのような活動をして、どういったことを身につけていくことができるかを理解することができる。	(予習)後期活動の内容を予習する (復習)計画を練直す	90	課題発見力 傾聴力
17週	レクリエーションとしての「祭」を理解する	教員による講義(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	「祭」のレクリエーションとしての意味を広く理解し、大学祭に向けての意識を確認することができる。	(予習)レクリエーションとしての「祭」について予習する (復習)祭りの意義について復習する	90	傾聴力
18週	「学泉祭」運営実践に向けて計画を立てる	教員からの説明と全員で出店の計画案を作成する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	グループ分けにより、学泉祭の模擬店の運営実践に向けて企画・準備をすることができる。	(予習)何の店か予習として企画する (復習)模擬店の企画運営計画について復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力
19週	「学泉祭」運営実践の反省をする	教員からの説明と全員で反省会を行う(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	学泉祭の模擬店の運営実践した振り返りをして、その実践の反省ができ記録することができる。	(予習)反省点をまとめる (復習)模擬店の企画運営のまとめの記録を作り復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
20週	レクリエーションとしての「旅」を理解し計画を立てる	教員からの説明と全員で旅行の計画案を作成する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	「旅」のレクリエーションとしての意味を広く理解し、ゼミ旅行に向けての意識を確認し計画することができる。	(予習)どこへ旅行企画するか予習する (復習)旅の意義について復習する	90	主体性 実行力、課題発見力、計画力、発信力、働きかけ力
21週	「ゼミ旅行」の運営・実践の反省	教員からの説明と全員で反省会を行う(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	ゼミ旅行の営実践した振り返りをして、その実践の反省ができ記録することができる。	(予習)反省点をまとめる (復習)ゼミ旅行の企画運営のまとめと記録を作り復習する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
22週	まちづくりプロジェクトを実施する①	演習形式で各自が活動する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	まちづくりプロジェクトに積極的に参加することができる。	(予習)プロジェクトで何をやるかについて予習する (復習)実施内容を反省する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
23週	まちづくりプロジェクトを実施する②	演習形式で各自が活動する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	まちづくりプロジェクトに積極的に参加することができる。	(予習)プロジェクトで何をやるかについて予習する (復習)実施内容を反省する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
24週	最終レポート作成に向けての手順を理解する	教員からの説明と計画案を作成する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	最終レポートの書き方、資料の収集・整理の仕方などについての説明とテーマ設定について理解ができる。	(予習)各希望種目の調査と選定について予習する (復習)予備調査を確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
25週	資料収集と相談を行う	演習形式で各自が活動する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	図書館や情報処理室を利用し、粘り強くレポート作成のための資料収集を行うことができる。	(予習)各希望種目の調査により予習する (復習)調査を確認する	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
26週	各自レポート作成と発表に向けての資料を作る①	演習形式で各自が活動する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	情報処理室を利用し、独自の考えを交えながら、粘り強くレポート作成のための資料収集を行うことができる。	(予習・復習)レポートの作成と見直しによる予習・復習をする	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
27週	各自レポート作成と発表に向けての資料を作る②	演習形式で各自が活動する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	情報処理室を利用し、独自の考えを交えながら、粘り強くレポート作成のための資料収集を行うことができる。	(予習・復習)レポートの作成と見直しによる予習・復習をする	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 発信力 働きかけ力
28週	レポート課題の第一次提出と発表内容の確認をする	演習形式で各自が活動する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	最終レポートの第一次提出をすることができる。	(予習・復習)レポートの作成と見直しによる予習・復習をする	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
29週	レポート課題の修正と最終提出をするとともに発表の最終確認をする	演習形式で各自が活動する(復習内容の質問に対して口答でフィードバックする)	最終レポートの訂正・修正を行い、最終提出ができる。	(予習・復習)レポートの作成と見直しによる予習・復習をする	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 規律性
30週	ゼミ活動のまとめ	学科内ゼミ発表会で報告する	完成したゼミナール報告をもとに、発表し総まとめをすることができる。	(予習)報告資料・原稿の準備をする (復習)発表の反省と振り返り	90	課題発見力 計画力 発信力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性
トレストロール力

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109	総合ゼミナール Seminar (Business planning & Human relations)	早川 周	基礎	2	必修	2年 前・後期
科目の概要						
<p>テーマ「 ①私のお店の開店計画（会社の事業計画）を作成する②D・カーネギー『人を動かす』を読む」</p> <p>本ゼミナールは、ビジネススタディユニットをユニット選択する学生で、企業の事務職等を進路希望とする学生向けのゼミナールである。</p> <p>前期は、私のお店の開店計画（会社の事業計画）を作成しながら企業・経営のしくみの基礎を勉強する。後期の前半は前期の勉強を基に、社会人基礎力育成学内グランプリ大会学科内予選に参加する。後期の後半は自己啓発の本を読み、卒業後の社会人生活の参考とする。</p>						
学修内容			到達目標			
① 企業・経営のしくみの基礎知識を復習する ② 事業計画策定の過程を実施、体験する ③ 自己啓発の本を読む			① 企業・経営のしくみの基礎知識を説明し、応用できる ② 自分自身で事業計画を策定できるようになる。 ③ 自己啓発の本の内容を自分自身の生活の中で実践できる			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例				
前に踏み出す力	主体性	予習や授業の中でわからないことがあれば、そのままにせず先生に質問をして解決する。				
	働きかけ力	グループワークなどチームで話し合っって課題を解決する時、意見が出るように積極的に働きかける。				
	実行力	失敗やトラブルがあってもあきらめず、目標達成に向けて行動する。				
考え抜く力	課題発見力	到達目標に達するために自分の課題を考え学習する。				
	計画力	課題に対して、計画を立て進めることができる。				
	創造力	授業内で「なぜ?」、「どうして?」という疑問を持ちながら、考える。				
チームで働く力	発信力	相手が自分の話を正しく理解しているかどうか、相手の反応を見て、状況に合わせて話す。				
	傾聴力	相手の言いたいことはなんだろうかと考えながら聞く。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	授業は欠席しない(体調不良、家庭の事情、就職活動を除く)。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト：カーネギー『人を動かす』（創元社） 参考文献：なし						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連：ビジネススタディユニットの各科目。とくに企業・経営のしくみ、マーケティング。 資格との関連：なし						
学習上の助言			受講生とのルール			
① 課題、学習内容に興味、関心を持ち、言われたからやるのではなく、自分から積極的に取り組むようにして下さい。			① 就職活動、病気などやむをえない場合を除き、欠席しない。 ② 欠席をする場合も無断欠席をせず、事前の連絡を行う。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント
筆記試験			
小テスト			
レポート	50	① ✓ ② ③ ✓	① テーマをよく理解し、わからないことは調べ、自分なりの意見を加え、まとめている。 ② 誤字、脱字、体裁の不備などがみられない。
成果発表 (口頭・実技)	30	① ✓ ② ✓ ③	① 社会人基礎力育成学内グランプリ学科内予選にむけて、成果発表の資料づくり、発表の練習に主体性を持って取り組むとともに、ゼミ全体の作業計画の進捗にも積極的に参加する。 ② 口頭発表のやり方に習熟し、わかりやすい発表を行うことができる。
作品			
社会人基礎力 (学修態度)	20	① ✓ ② ③	(主体性) ・予習や授業の中でわからないことがあれば、そのままにせず先生に質問をして解決する。 (働きかけ力) ・グループワークなどチームで話し合っ課題を解決する時、意見が出るように積極的に働きかける。 (実行力) ・失敗やトラブルがあってもあきらめず、目標達成に向けて行動する。 (課題発見力) ・到達目標に達するために自分の課題を考え学習する。 (計画力) ・課題に対して、計画を立て進めることができる。 (創造力) ・授業内で「なぜ?」、「どうして?」という疑問を持ちながら、考える。 (発信力) ・相手が自分の話を正しく理解しているかどうか、相手の反応を見て、状況に合わせて話をする。 (傾聴力) ・相手の言いたいことはなんだろうかと考えながら聞く。 (規律性) ・授業は欠席しない(体調不良、家庭の事情、就職活動を除く)。
その他			
総合評価 割合	100	✓	レポート、成果発表、学習態度を総合して評価する。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
① 予習、宿題演習を毎回、行っている。 ② ゼミナール全体の目標に対して自分なりの計画を立て、作業を進め、遅れている時などは臨機応変に対応している。 ③ 自分自身の課題だけでなく、他の人の相談に乗り、全体のことも積極的に関わっている ④ 気付いた問題、課題の解決策を考えたり、他人に相談したりしている ⑤ 作業の全体の進捗状況を見て、自分のできることはないか考えている	① 予習、宿題演習を行っていない場合がある。 ② 自分なりの計画を立てているが、その実施と状況の把握などが不十分である。 ③ 創意工夫して、現状の内容より向上させている ④ 現在の作業で問題、課題はないか、時々、確認している ⑤ 他の人の作業や作業全体の進捗状況にも関心を持ち、状況を把握している

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 / /	事業計画、ビジネスプランの意義、目的を理解する 受講生の事前調査を実施する	講義と演習 提出物は原則、評価、コメントして返却する。	自分自身の年間の目標を立てる	(予習)宿題演習を行う	60	主体性、課題発見力
2週 / /	事業計画に盛り込む項目、内容を知る	講義と演習 提出物は原則、評価、コメントして返却する。	授業の要点、キーワードが理解できている	(予習)宿題演習を行う	60	主体性、課題発見力
3週 / /	事業、ビジネスの選択の考え方。会社の名前の付け方などを知る 自分自身の会社の名前を考える。	講義と演習 提出物は原則、評価、コメントして返却する。	授業の要点、キーワードが理解できている	(予習)宿題演習を行う	60	主体性、課題発見力
4週 / /	演習で作成する事業計画のひな形を示し、最終成果物のイメージを得る	講義と演習 提出物は原則、評価、コメントして返却する。	授業の要点、キーワードが理解できている	(予習)宿題演習を行う	60	主体性、課題発見力
5週 / /	経営方針、社是・社訓の意義を知る 自分自身の会社の経営方針を考える	提出物は原則、評価、コメントして返却する。	授業の要点、キーワードが理解できている	(予習)宿題演習を行う	60	主体性、課題発見力
6週 / /	事業の製品・サービスの内容を検討する	講義と演習 提出物は原則、評価、コメントして返却する。	授業の要点、キーワードが理解できている	(予習)宿題演習を行う	60	主体性、課題発見力
7週 / /	人件費を基に目標売上高を検討する	講義と演習 提出物は原則、評価、コメントして返却する。	授業の要点、キーワードが理解できている	(予習)宿題演習を行う	30	主体性、課題発見力
8週 / /	事業開始段階の貸借対照表を作成する	講義と演習 提出物は原則、評価、コメントして返却する。	事業計画の基本を理解する	(予習)宿題演習を行う	30	主体性、課題発見力
9週 / /	話し方、チャート化などを概説する 事業計画書の作成方法を検討する	講義と演習 提出物は原則、評価、コメントして返却する。	事業計画の作成内容を理解する	(予習)宿題演習を行う	30	主体性、課題発見力
10週 / /	店舗のレイアウトなど店舗計画を作成する	講義と演習 提出物は原則、評価、コメントして返却する。	事業計画の作成内容を理解する	(予習)宿題演習を行う	30	主体性、課題発見力
11週 / /	商圏・立地分析を行う 自身の会社、店舗の立地を検討する	講義と演習 提出物は原則、評価、コメントして返却する。	事業計画の作成内容を理解する	(予習)宿題演習を行う	30	主体性、課題発見力
12週 / /	予想損益計算書の作成する	演習 提出物は原則、評価、コメントして返却する。	事業計画を作成する	(予習)宿題演習を行う	30	主体性、課題発見力
13週 / /	営業体制(営業日、営業時間)の検討をする	演習 提出物は原則、評価、コメントして返却する。	事業計画を作成する	(予習)宿題演習を行う	30	主体性、課題発見力
14週 / /	事業計画書を完成させる 事業計画発表の練習	演習 提出物は原則、評価、コメントして返却する。	事業計画を作成する	(予習)宿題演習を行う	30	主体性、課題発見力
15週 / /	各自、事業計画の概要を発表する。	演習 提出物は原則、評価、コメントして返却する。	事業計画を発表する 報告書を作成する	(予習)宿題演習を行う	30	主体性、課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
16週 /	社会人基礎力学内GP発表 準備作業(前期に行った事 業計画を基に発表内容の準 備)	演習 提出物は原則、評価、コメン トして返却する。	主体性を持ってとりくめている	(復習)授業中に出 来なかった作業の実 施	30	主体性、 課題発見 力
17週 /	社会人基礎力学内GP発表 準備作業(前期に行った事 業計画を基に発表内容の準 備)	演習 提出物は原則、評価、コメン トして返却する。	主体性を持ってとりくめている	(復習)授業中に出 来なかった作業の実 施	30	主体性、 課題発見 力
18週 /	社会人基礎力学内GP発表 準備作業(前期に行った事 業計画を基に発表内容の準 備)	演習 提出物は原則、評価、コメン トして返却する。	主体性を持ってとりくめている	(復習)授業中に出 来なかった作業の実 施	30	主体性、 課題発見 力
19週 /	社会人基礎力学内GP発表 準備作業(前期に行った事 業計画を基に発表内容の準 備)	演習 提出物は原則、評価、コメン トして返却する。	主体性を持ってとりくめている	(復習)授業中に出 来なかった作業の実 施	30	主体性、 課題発見 力
20週 /	社会人基礎力学内GP発表 準備作業(発表資料、発表 原稿の作成)	演習 提出物は原則、評価、コメン トして返却する。	主体性を持ってとりくめている	(復習)授業中に出 来なかった作業の実 施	30	主体性、 課題発見 力
21週 /	社会人基礎力学内GP発表 準備作業(発表のリハーサ ル)	演習 提出物は原則、評価、コメン トして返却する。	主体性を持ってとりくめている	(復習)授業中に出 来なかった作業の実 施	30	主体性、 課題発見 力
22週 /	社会人基礎力学内GP発表 準備作業(発表のリハーサ ル)	演習 提出物は原則、評価、コメン トして返却する。	主体性を持ってとりくめている	(復習)授業中に出 来なかった作業の実 施	30	主体性、 課題発見 力
23週 /	カーネギー『人を動かす』 を読む(1)	講義と演習 提出物は原則、評価、コメン トして返却する。	授業の要点、キーワードが理解 できている	(予習)テキストの該 当箇所を読む、宿題 演習を行う	30	主体性、 課題発見 力
24週 /	カーネギー『人を動かす』 を読む(2)	講義と演習 提出物は原則、評価、コメン トして返却する。	授業の要点、キーワードが理解 できている	(予習)テキストの該 当箇所を読む、宿題 演習を行う	30	主体性、 課題発見 力
25週 /	カーネギー『人を動かす』 を読む(3)	講義と演習 提出物は原則、評価、コメン トして返却する。	授業の要点、キーワードが理解 できている	(予習)テキストの該 当箇所を読む、宿題 演習を行う	30	主体性、 課題発見 力
26週 /	カーネギー『人を動かす』 を読む(4)	講義と演習 提出物は原則、評価、コメン トして返却する。	授業の要点、キーワードが理解 できている	(予習)テキストの該 当箇所を読む、宿題 演習を行う	30	主体性、 課題発見 力
27週 /	カーネギー『人を動かす』 を読む(5)	講義と演習 提出物は原則、評価、コメン トして返却する。	授業の要点、キーワードが理解 できている	(予習)テキストの該 当箇所を読む、宿題 演習を行う	30	主体性、 課題発見 力
28週 /	カーネギー『人を動かす』 を読む(6)	講義と演習 提出物は原則、評価、コメン トして返却する。	授業の要点、キーワードが理解 できている	(予習)テキストの該 当箇所を読む、宿題 演習を行う	60	主体性、 課題発見 力
29週 /	カーネギー『人を動かす』 を読む(7)	講義と演習 提出物は原則、評価、コメン トして返却する。	授業の要点、キーワードが理解 できている	(予習)テキストの該 当箇所を読む、宿題 演習を行う	60	主体性、 課題発見 力
30週 /	カーネギー『人を動かす』 を読む(8)	講義と演習 提出物は原則、評価、コメン トして返却する。	授業の要点、キーワードが理解 できている	(復習)レポートを作 成する	360	主体性、 課題発見 力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31109	総合ゼミナール Seminar(Member of society basic skills practice Seminar)	山本 豊	専門	2	必修	2年 前・後期

科目の概要

「社会人基礎力育成実践ゼミ」として、実社会に積極的に向き、地域の方々と一緒に地域貢献活動・産学官連携活動・まちづくり活動を実践的および具体的に経験することで、社会人として活躍できる基礎能力を身につけるゼミである。ゼミオリジナル制作活動計画ノートを活用し、毎回の授業のポイント、自身の気付きなどを記述する。

前期①「岡崎発・まゆプロジェクト」産学連携活動として、平成 27 年度から岡崎市道の駅・藤川宿で常設販売を開始した徳川家康公顕彰 400 年記念・まゆ人形「いえやす君」をはじめとし、「干支」「雛人形」など、まゆ人形の企画・開発・制作・実演販売など、実践活動をする。(通年)

②地元貢献活動として「はなのとう」祭りに「まゆ人形」ブースを出店し、販売と「まゆ人形」教室をする。(5月初旬)

後期③名古屋市教育委員会主催:名古屋士土曜学習プログラム「まゆ人形講習会:かわい動物キャラを創ろう」および「愛知県の養蚕の歴史と蚕の一生」ミニ授業を学生たちが講師として開催する。(日程未定)

④学泉祭で、各種ファッションコンテストで入選した作品を学生がモデルとなり披露する「学泉祭山本ゼミファッションショー」を開催し、その舞台演出、音楽、リハーサルなど、実際のファッションショー型式で企画し開催する。(10月)

⑤卒業ファッションショーではイブニングドレス、ウエディングドレス、カクテルドレスなど、自身がデザインした作品制作およびステージ企画に取り組み、本番ではモデルとして出演しファッションを学修したゼミでの成果を披露する。(2月)

学修内容	到達目標
① 「岡崎発・まゆプロジェクト」を継続、実践活動をする。	① 本年度の目標:道の駅でのまゆ人形販売の強化。
② 地元貢献活動として「はなのとう」祭りへの参加。	② 祭りに参加することで、地元貢献活動のあり方を知る。
③ 名古屋市教育委員会主催:土曜学習プログラム「まゆ人形講習会」開催する。	③ 約 100 名の小学生に向けての講習会であるため、適切な計画、配慮がある講習内容の準備ができる。
④ 学泉祭ファッションショーを開催する。	④ 開催に向けて計画、準備等積極的な行動ができる。
⑤ ファッションの専門知識を活用し卒業ファッションショーへの出品作品を制作する。	⑤ 修得した専門知識、技術を反映した作品制作をする。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	授業時間内だけでなく、授業外時間や自宅等で自主的に制作を進め、より良い作品、多数の作品を制作している。
	働きかけ力	
	実行力	本科目の到達目標、評価方法、到達目標の基準を確認し、自身の制作目標を設定する。設定した目標を意識し、達成できる。
考え抜く力	課題発見力	①～⑤のプロジェクトの特徴を理解し、それぞれの活動を具体的に列挙できる。
	計画力	決められた『計画表』を作成し、締切に遅れないよう進捗状況に合わせて随時計画を見直している。
	創造力	知識を活用して、まゆグッズ開発、卒業作品制作のデザインや縫製の中に独自のアイデアが見られる。
チームで働く力	発信力	教員から技術指導を受ける際、制作状況、自己の考え、疑問点をわかりやすく教員に説明できる。
	傾聴力	教員から指導を受ける際、聴く姿勢(うなずき、あいづち)が見られる。重要な点はメモをとり、疑問や不明な点は質問して、指導内容を正しく理解する行動ができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	時間、ルールを厳守し、自己の都合により解釈を変えない。道具について、決められた扱いを守る。授業開始時には必要な道具を揃え、受講できる態勢ができていないこと。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト: MODE et MODE ・ELLE ・high fashion ・VOGUE

参考文献:なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:ファッション造形、ファッションコンテスト、パターンメイキング、やさしいソーイング

資格との関連:なし

学修上の助言	受講生とのルール
・制作計画予定に到達できなかった場合は、必ず次回授業までに到達しておく。	・ゼミ生が一丸となって活動する授業内容であることを自覚し、チームの仲間に迷惑をかけない行動ができるように心がける。(欠席など) ・卒業ファッションショーに使用する材料費として実費が必要である。費用は使用する生地より変動する。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品	70	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・まゆを使用した新たなアイディアのまゆ人形を提案できること。 ・ファッションショー開催にむけて計画、準備等積極的に行動ができたこと。 ・卒業作品制作についての知識と技術が計画的に修得できていること。 ・学修成果を発揮して、3作品制作に挑戦できたこと。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 【主体性】自ら知識を深める姿勢・行動が見られる。 【実行力】努力すれば達成できる高い目標を設定し、それを達成している。 【課題発見力】知識を活用して論理的に考えている。 【創造力】既存の知識を元に試行錯誤し、独自の考えを作っている。 【発信力】相手がわかりやすく、正確に理解できるよう、工夫して伝えている。 【傾聴力】話を聞く姿勢が見られ、内容を正しく理解できるよう行動している。 【規律性】決められたルールは全て厳守し行動している。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他	20	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を立て、制作活動計画ノートに制作計画を立案し提出すること。 ・制作過程を記録し、進捗状況に応じて計画表を修正して提出すること。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)および A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
<p>到達レベル S の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A の基準に加え、社会人基礎力能力要素が行動特性として評価できたこと。 <p>到達レベル A の基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①、②、③の学外プロジェクトに主体的に参加し、学習の達成目標を充足している。 ・制作活動計画ノートに授業内容のまとめだけでなく、自身の気付きが書かれている。 ・課題の作品が指導通り完成でき、美しく仕上げている。 ・今まで学んだ技術と知識を使い積極的に卒業作品を制作する事ができる。 ・毎回の学習予定より早く制作できている。 ・3作目を制作している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・①、②、③の学外プロジェクトに積極的に参加している。 ・制作活動計画ノートに授業内容がまとめられている。 ・課題の作品が完成している。 ・今まで学んだ技術と知識を使う事ができる。 ・毎回の学習予定が時間内で終了している。 ・2作目を制作している。

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	ガイダンス ・①～⑤のゼミ活動の意義と内容を説明する。 ・①～⑤の年間計画を立てる。	講義	・制作活動計画ノート(以下ノートと記述する)に授業の内容を書くことができる。	(予習)シラバスを読み、ゼミの内容を把握しておく。まゆについて調べてくる。	30	傾聴力 計画力 課題発見力
2週 /	道の駅・藤川宿での本年度活動の企画・開発等ブランディングを行う。 ・全員がアイデアを出し、討議をし、本年度の活動内容を具体的に計画する。 ・まゆキャラクターを開発する。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・討議に参加できる。 ・計画を立てることができる。 ・ノートに授業内容を書くことができる。	(予習)まゆ人形グッズ、キャラクターのデザインを描いてくる。 (復習)ノートを読み返し授業のポイントを確認する。	120	傾聴力 発信力 創造力 計画力
3週 /	道の駅・藤川宿で販売する商品開発会議をする。 ・29年度新作グッズデザインを発表する。 ・まゆキャラクターを発表する。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・グッズデザインを考えてきた。 ・まゆキャラクターを考えてきた。	(予習)制作に必要な材料を考えてくる。 (復習)ノートを読み返し授業のポイントを確認する。	120	傾聴力 発信力 創造力 計画力 実行力
4週 /	道の駅・藤川宿に出荷する商品を制作する。 ・完成度の高い商品となるまゆグッズを制作する。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・まゆグッズが制作できる。	(予習)時間内で完了できるように制作の段取りを考えてくる。 (復習)ノートを読み返し授業のポイントを確認する。	120	計画力 創造力 実行力
5週 /	「はなのとう」祭りに出店するため、担当を決め準備をする。 ・販売用まゆ人形の制作をする。 ・販売用まゆ人形のキットを制作する。 ・その他出店準備をする。(ポップ等) ・当日の役割表、タイムスケジュールを作成する。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・担当の役割ができる。	(予習)はなのとうでの役割を確認してくる。 (復習)ノートを読み返し授業のポイントを確認する。	120	計画力 創造力 実行力
6週 /	「はなのとう」祭りでの実演販売を実施する。 ・販売を経験する。 ・接客を経験する。 ・まゆ人形の制作指導をする。	学外実習	・集合時間を守ることができる。 ・役割を果たすことができた。	(予習)材料の過不足を確認し補充する。 (復習)ノートを読み返し授業のポイントを確認する。	120	傾聴力 発信力 創造力 計画力 実行力 規律性
7週 /	道の駅・藤川宿に出荷する商品を制作する。 ・完成度の高い商品となるまゆグッズを制作する。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・まゆグッズが制作できる。	(予習)材料の過不足を確認し補充する。 (復習)ノートを読み返し授業のポイントを確認する。	120	計画力 創造力 実行力
8週 /	道の駅・藤川宿に出荷する商品を制作する。 ・完成度の高い商品となるまゆグッズを制作する。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・まゆグッズが制作できる。	(予習)材料の過不足を確認し補充する。 (復習)ノートを読み返し授業のポイントを確認する。	120	計画力 創造力 実行力
9週 /	道の駅・藤川宿で実演販売するため、担当を決め準備をする。 ・販売用まゆ人形の制作をする。 ・販売用まゆ人形のキットを制作する。 ・その他出店準備をする。(ポップ等) ・当日の役割表を作成する。 ・タイムスケジュールを作成する。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・担当の役割ができる。	(予習)販売に向け最終確認をする。 (復習)ノートを読み返し授業のポイントを確認する。	120	計画力 創造力 実行力
10週 /	道の駅・藤川宿での実演販売を実施する。 ・販売を経験する。 ・接客を経験する。 ・まゆ人形の制作指導をする。	学外実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・集合時間を守ることができる。 ・役割を果たすことができた。	(予習)材料の過不足を確認し補充する。 (復習)ノートを読み返し授業のポイントを確認する。	120	傾聴力 発信力 創造力 計画力 実行力 規律性
11週 /	道の駅・藤川宿に出荷する商品を制作する。 ・完成度の高い商品となるまゆグッズを制作する。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・まゆグッズが制作できる。	(予習)材料の過不足を確認し補充する。 (復習)ノートを読み返し授業のポイントを確認する。	120	計画力 創造力 実行力
12週 /	道の駅・藤川宿で実演販売するため、役割を決め準備をする。 ・販売用まゆ人形制作 ・販売用まゆ人形キット制作 ・その他出店準備をする。(ポップ等) ・当日の役割表、タイムスケジュールを作成する。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・担当の役割ができる。	(予習)販売に向け最終確認をする。 (復習)ノートを読み返し授業のポイントを確認する。	120	計画力 創造力 実行力
13週 /	道の駅・藤川宿での実演販売を実施する。 ・販売を経験する。 ・接客を経験する。 ・まゆ人形の制作指導をする。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・集合時間を守ることができる。 ・役割を果たすことができた。	(予習)会議で発表する準備をする。 (復習)ノートを読み返し授業のポイントを確認する。	120	傾聴力 発信力 創造力 計画力 実行力 規律性
14週 /	ゼミ会議を開催する。 ・前期活動の振り返り、各自意見を発表する。 ・決算報告をする。 ・後期に向けての改善点等を話し合う。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・前期を振り返り、意見が発表できる。 ・後期の改善点を話し合うことができる。	(予習)③～⑤の内容について年間計画を確認する。 (復習)ノートを読み返し授業のポイントを確認する。	120	発信力 傾聴力 課題発見力
15週 /	後期活動に向けての準備をする。 ・③～⑤の計画表の再確認をする。 ・活動内容を把握し、具体的に日程調整や作業の分担を決める。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・後期活動内容が把握できる。	(予習)次回授業の計画を確認する。 (復習)ノートを読み返し授業のポイントを確認する。	120	発信力 傾聴力 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
16週 /	名古屋市土曜学習プログラム 「まゆ人形講習会:かわいい動物キャラを創ろう」および「愛知県の養蚕の歴史と蚕の一生」ミニ授業の計画を立てる。 ・学習プログラムの内容を決める。・タイムスケジュールを作成する。・役割分担を決める。	演習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・各自意見を発表できる。	(予習)使用道具、材料の過不足を確認する。 (復習)ノートを読み返し授業のポイントを確認する。	120	傾聴力 計画力 課題発見力
17週 /	名古屋市土曜学習プログラム 「まゆ人形講習会:かわいい動物キャラを創ろう」、「愛知県の養蚕の歴史と蚕の一生」ミニ授業の準備をする。 ・使用するまゆ人形の準備をする。 ・使用する道具の準備をする。 ・ミニ授業で使用するパワーポイントの準備をする。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・各自が担当する役割ができる。	(予習)講習会に向け使用道具、材料の最終確認をする。 (復習)ノートを読み返し授業のポイントを確認する。	120	発信力 傾聴力 実行力
18週 /	名古屋市土曜学習プログラム 「まゆ人形講習会:かわいい動物キャラを創ろう」および「愛知県の養蚕の歴史と蚕の一生」ミニ授業を、担当小学校で開催する。	学外実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・集合時間を守ることができる。 ・担当小学校で決められた各自の役割ができる。	(予習)次回授業の計画を確認する。 (復習)講習会を振り返り、ノートに感想を記述する。	120	傾聴力 発信力 創造力 実行力
19週 /	学泉祭山本ゼミファッションショーの開催にむけて計画、準備等をする。 ・タイムスケジュールを考える。・出演順番表を作成する。 ・出演モデルを決める。・バックサウンドを決める。 ・ファッションショー舞台演出を決める。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・計画、準備等に参加している。 ・各自が担当する役割ができる。	(予習)リハーサルの準備を整える。 (復習)授業を振り返り、気づきをノートに記述する。	120	発信力 傾聴力 実行力
20週 /	学泉祭山本ゼミファッションショーの開催にむけて計画、準備等をする。 ・ファッションショーのリハーサルを行う。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・リハーサルの準備ができる。 ・各自が担当する役割ができる。	(予習)卒業ファッションショー作品制作の計画を具体的に考えてくる。 デザインを考えてくる。 (復習)授業を振り返り、気づきをノートに記述する。	120	傾聴力 実行力 規律性
21週 /	卒業ファッションショー作品制作を開始する。 ・作品制作計画をたてる。 ・各自オリジナルデザインのデザイン画を描く。 ・卒業ファッションショーに着用する各自オリジナルデザインを決定する。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・オリジナルデザインが描ける。	(予習)生地購入に必要なデザイン画を完成してくる。 (復習)デザイン画が描けていない人は、次回までに準備しておくこと。	180	主体性 実行力 傾聴力 発信力 計画力 創造力
22週 /	卒業ファッションショー作品制作を制作する。 ・生地、材料を専門店で買い付けに行き、デザインにあった生地の選別方法の指導を教員から受ける。	学外実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・集合時間を守ることができる。 ・購入するため必要なデザイン画等の準備ができています。 ・生地を選ぶことができる。	(予習)パターンノートに目を通し、授業に持参する。 (復習)生地を選ぶ注意点について記述する。	180	主体性 傾聴力 発信力 計画力 創造力 規律性
23週 /	卒業ファッションショー作品制作を制作する。 ・パターン(型紙)を制作する。 ・仮縫いの準備をする。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・パターン制作に必要な道具と材料の準備ができています。 ・仮縫いの準備ができる。	(予習)パターンノートに目を通し、授業に持参する。 (復習)パターンを仕上げ、仮縫いの準備を完成する。	180	主体性 傾聴力 発信力 計画力 創造力
24週 /	卒業ファッションショー作品制作を制作する。 ・教員による仮縫いをする。 ・型紙補正をする。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・型紙補正ができる。	(予習)パターンノートに目を通し、授業に持参する。 (復習)型紙補正を完成する。	180	主体性 傾聴力 発信力 計画力 創造力
25週 /	卒業ファッションショー作品制作を制作する。 ・裁断用パターンを制作する。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・裁断用パターンが制作できる。	(予習)裁断に必要な道具を用意する。 復:裁断用パターンを完成する。	180	主体性 傾聴力 発信力 計画力 創造力
26週 /	卒業ファッションショー作品制作を制作する。 ・裁断をする。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・裁断に必要な道具の準備ができています。 ・裁断ができる。	(予習)縫製に必要な付属材料の準備をしてくる。 (復習)裁断を完了する。	180	主体性 傾聴力 発信力 計画力 創造力
27週 /	卒業ファッションショー作品制作を制作する。 ・縫製をする。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・縫製に必要な道具の準備ができています。 ・縫製ができる。	(予習)縫製に必要な付属材料の準備をしてくる。 (復習)予定の縫製を完成する。	180	主体性 傾聴力 発信力 計画力 創造力
28週 /	卒業ファッションショー作品制作を制作する。 ・縫製をする。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・縫製に必要な道具の準備ができています。 ・縫製ができる。	(予習)縫製とアクセサリー制作に必要な付属材料の準備をしてくる。 (復習)予定の縫製を完成する。	180	主体性 傾聴力 発信力 計画力 創造力
29週 /	卒業ファッションショー作品制作を制作する。 ・縫製をする ・アクセサリーを制作する。	実習 ノートに講評を記述し、フィードバックする。	・縫製ができる。 ・アクセサリー制作に必要な材料の準備ができています。 ・アクセサリーが制作できる。	(予習)卒業ファッションショーの準備をする。 (復習)作品を完成する。	180	主体性 傾聴力 発信力 計画力 創造力
30週	完成した作品を卒業ファッションショーで披露する。	実習 ノートに講評を記述しフィードバックする。	・作品が完成できている。	(復習)ノートに振り返りを記述する。	60	創造力

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力